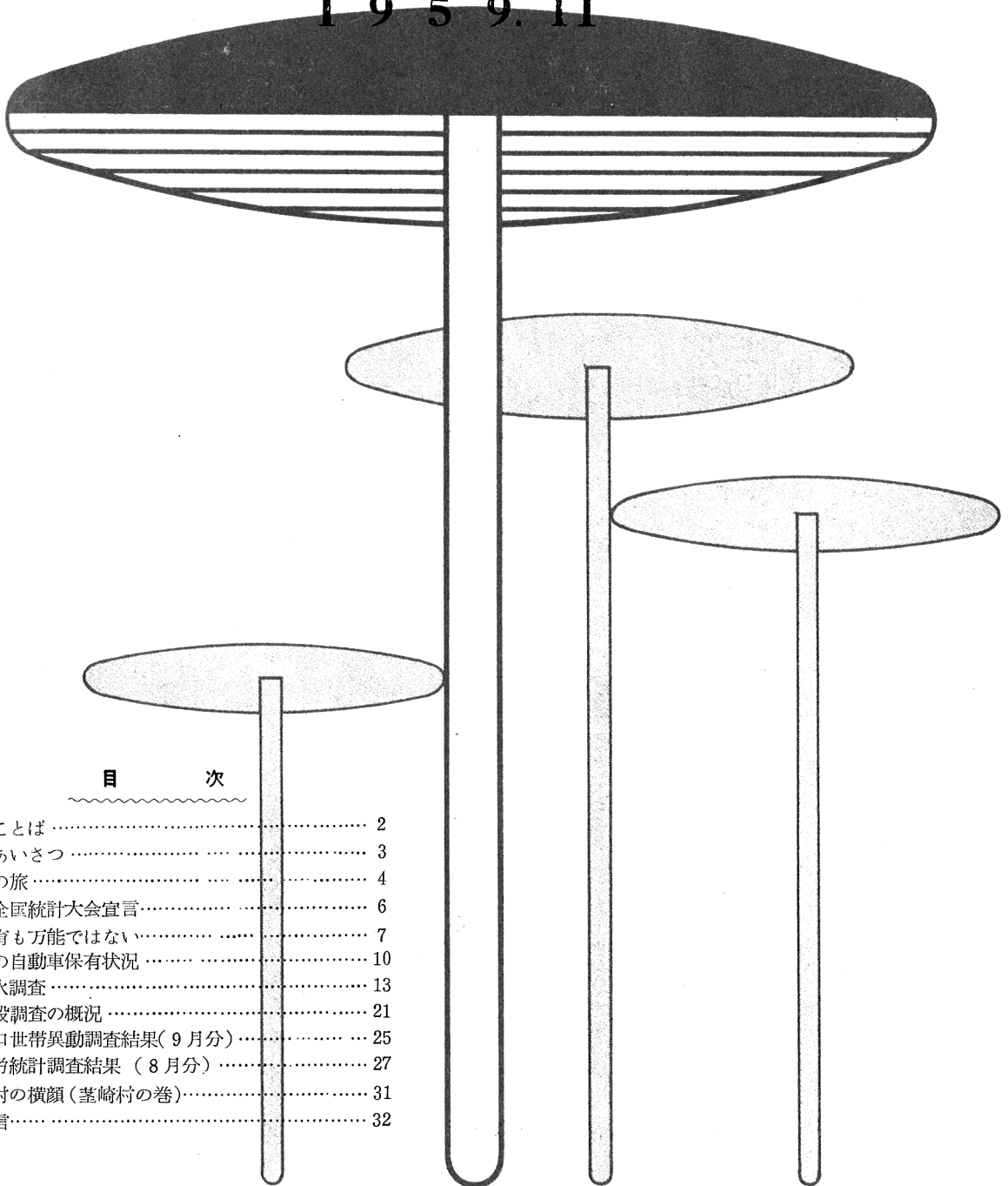


統計茨城

1959.11



目次

| | |
|-------------------|----|
| 主任のことば | 2 |
| 主任のあいさつ | 3 |
| 茨城への旅 | 4 |
| 第10回全国統計大会宣言 | 6 |
| 統計教育も万能ではない | 7 |
| 茨城県の自動車保有状況 | 10 |
| 茨城県の用水調査 | 13 |
| 茨城県の施設調査の概況 | 21 |
| 3月人口世帯異動調査結果(9月分) | 25 |
| 3月勤労統計調査結果(8月分) | 27 |
| 茨城市町村の横顔(基崎村の巻) | 31 |
| 茨城通信 | 32 |
| 電覧室 | |



かんしよ

英語でスイート・ポテト。ヒルガオ科のただ一つの主要食糧作物。アサガオとも同類。メキシコ、コロンビアなどのアメリカ大陸の熱帯地域を原産地とする説がある。

コロンブスがヨーロッパに持ち帰り、まずスペインで植えられ、イタリアは土地が合わず1963年西アフリカへ、1576年ベルギーに、1597年イギリスに、17世紀にマニラ、マライ、バタビアに広まった。

次いでルソンから福建へ、それからカライモとして琉球へ、元禄頃琉球いもとして薩摩へ、享保頃サツマイモとして日本全国へ広まった。

昭和32年全国の推定実収高は6,228,331トンで、本県は498,740トン、鹿児島県の1,031,930トン、千葉の552,920トンに次いで全国第3位にある。県下では銚田町(30,361トン……昭和33年以下同じ)勝田市(26,901トン)旭村(23,757トン)が主要産地である。世界的産地は北米合衆国の南部と南方アジア、日本など。

フィリピンでは、かんしよをカモテといい、「カモテで暮す」といえば一般に極貧を意味する。大言海には「貧民多く糧とす」とあるが、終戦直後は貴重品であつた。



就任のことば

茨城県総務部長 秋山喜市
茨城県統計協会会長

このたび総務部長に任命され、併せて統計協会長として、皆様方と共に統計の仕事にたずさわることになりましたが、統計について日頃考えておりますことを申し述べましてご挨拶に代えたいと存じます。

元来統計という仕事は非常に地味なものであるため一般にその理解や、関心の度合は低調であります。

しかしながら統計の果す役割が、現在の社会に対し、いかに重要であり、大きなものであるかは、今更申し上げるまでもありませんが、国や地方自治体における各種の行財政はもとより、いろいろな産業の振興、育成に関する施策も、表面にこそ表われませんが、その根本は統計によつているのであります。すべての生産は統計という眼に見えない力をバックとして成り立っているといつても過言ではないと思うのであります。

このように考えてまいりますと、統計の重要度が、おのずから認識されてくるのでありまして、ここに統計という眼に見えざる生産に黙々として従事しております皆様方に心から敬意を表しますと同時に、今後更に統計業務の普及向上に努められ、本県における産業発展のための土台を築いて頂きたいとお願いいたします次第であります。



就任のあいさつ

茨城県統計課長 根本倉吉
茨城県統計協会副会長

このたび行われました県の人事異動により、10月13日付をもちまして統計課長に就任いたしましたので、ここに紙上をかり、日頃から敬愛いたしております統計関係者の皆様方に一言御挨拶申し上げます。

ちようど私が就任いたしました2日後に、大阪で第10回の全国統計大会が開催され、その経過や報告などを見聞いたしますと、統計という仕事が、多くの人々の長年の努力によりまして、今や大樹に成長いたし、けんらんたる花を咲かせる時期に到達したのをしみじみと感ずります。その規模は全世界にわたり、その内容は人間社会のあらゆる分野からの需要に応じております。

ひるがえつて、本県におきましても、統計事務の独立による統計課の誕生後一年を経過し、その業務はようやく円滑な軌道に乗つたと考えられ、さらに今春、岩上新知事の就任によりまして、県民のためにより多く利用出来る統計資料の充実が強く要請されており、目下資料の整備、閲覧室の拡充等に努めております。

このように見てまいりますと、統計という仕事が、次第に地味な仕事から花やかな仕事に——時代の花形に移りつつあるのが分ります。

来年度は国勢調査、農林業センサスと二つの大きな統計調査が控えており、統計界はまさに諸事多端と申せましょう。この時に当り、統計課長に就任いたしましたことは、今更ながらその職務の重大さを感じます。

行政の分野にかかわらず、現在の社会機構はすべて精密な組織の上に成り立っておりますが、統計もまたあの精巧な集計機械が象徴するように、整頓された組織によつて作り出されるものと思ひますが、今回その組織の一員に加わりました私に対し、よろしく御べんたつと御指導を賜ふようお願い申し上げますと共に、皆様方の御健闘をお祈りいたします。



離任のあいさつ

人事委員会事務局長 柏原 誠

昨年9月県庁機構の一部改革に伴い統計課として発足しましたが、それと同時に私は統計課長を拝命し爾来1年余を過しましたが、この度の異動によつて、人事委員会事務局に転任することとなり、統計関係の皆さまにお別れのあいさつを述べることになりましたことは、今後多くの仕事を控えて後髪を引かれる思いがいたします。

顧みますれば着任当時は、各支庁の統計事務が統計課に集中されましたので課員も70人になんなんとする大世帯となり、この管理面について「これは容易でない」と感じたのですが、幸い課員相互の理解ある御協力によつて、和気あいのうちに仕事をすることができましたことは、私の生涯の中の大きな思い出として印象されることでしょう。

統計調査もいろいろの面で飛躍的な発展を遂げておりますが、統計調査員の資質の向上も最近めきめき改善され、調査員としての基本的な理念をよく体得した方々が非常に多くなつてきているということは、数年前に思い比べ感慨にたえないものがあります。

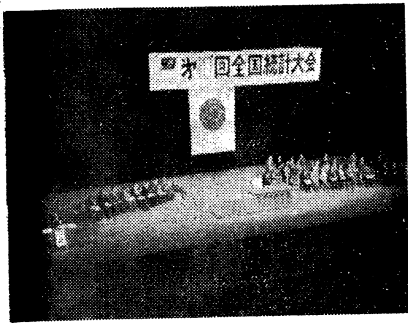
第一線に活動されている調査員のかたがたの苦労は、全く察するに難くないのでありますが、統計調査の高度化に伴つて、更に一層技術的なデリケートさが要請されることになり、今後益々研究向上が必要となつてくると思います。

来る1960年はまず2月に農業センサスを始めとして7月の事業所調査、商業調査、10月の国勢調査など重要なしかも規模の大きい調査があり、関係者の多事を想わせられますが、どうか日頃の経験と技術を高度に発揮し立派な成果を挙げられるよう心から祈る次第であります。

終りに「統計茨城」の発展と統計関係者の御健康を祈つて離任のあいさつといたします。

(前茨城県統計課長)
(前茨城県統計協会副会長)





大 阪 へ の 旅

～第十回全国統計大会に参加して～

田 中 文 司

第10回全国統計大会の開催地大阪を目指して、東海道を西下する。雄大な富士のお山は相変らぬ秀麗さで青く澄み、海岸線の松の緑と相和していつもながら旅情を慰めてくれる。ミカンはまだ青いが、豊作らしく枝にたわわに美事な出来で、小田原辺りまではまことに隠やかな眺めであるが、一步静岡に入ると、先日の伊勢湾台風の爪跡が車窓に写りはじめいままさらながら、あの台風の規模の強さと、自然の猛威のたくましさをもさまざまと、眼のあたりに見せつけられる。浜松辺りに至ると松を除くすべての樹木の緑が強風と潮風のためにか、ほとんど茶褐色に変色し、竹の葉などは全く灰色と化して、ちょうど冬枯れの光景を呈している。水稻は倒伏し、五年続きの豊作の夢も無惨に打砕かれ僅かに残った穂も粒が少なく衰れさを催す。根こそぎになつた大木、中途から引裂れた木、瓦葺の多いこの辺の屋根は、グシの瓦がむしり取られているのも痛々しい。普段ならこの辺の風光を賞でながらの楽しい旅であるのだが、今日ばかりは何んとなき気分も沈んで黙り勝ちになるのも人情であろう。岡崎を過ぎると更に周囲は荒んでくる。この辺から倒壊家屋も目立つて多くなり、熱田辺りの沿線には高潮と強風に叩きのめされ、破壊された家屋の残骸が、畳戸障子、家具類や日用品など山のように打ち寄せ、すでに臭気を放っている。ここから名古屋にかけてますますその惨状がひどくなり屋根にはビシヨ濡れの布団の綿のみが乾されており、これからの寒さに向う生活のほどが他人事ながら思われ、自然の力の威大さと、政治の貧困さが今更ながら痛感させられた次第。こんな現状を見ながらの道中を終つて名古屋駅から望見される復元された名古屋城の金色に輝く「シヤチホコ」を眺めながら「あの城を復元する費用で名古屋港の防波堤の強化をしていたらこれほどの災禍は見なかつたろう」と言つた誰かの言葉は後の祭りながら、しみじみと思ひ出されるほど余りにも皮肉な対象として眺められた。走る車窓から一寸眺めただけでもこの程度に災害の跡が見られるのだから海岸線沿いの罹災地の惨状は想像もつかないほどである

うなどと考へている中に旅の疲れでうとうととする。

その中に舞台は一転してネオンの海、夜の大阪に着く。ここは今までの暗い眺めとは打つて変つた華やかさ。イルミネーションに輝く名城大阪城が駅から望見される。

大阪市の人口は二百万余、商業、工業の都市だけあつて、周辺は工業地帯で黒煙をさかんに吐き、中心部はネオンの灯もまばゆい「喰い倒れの街」その大阪の大動脈ともいふべき道頓堀に茨城県関係の宿舎がある。まず宿に着いて女中さんに大阪の名物はと聞くと、「岩おこしまむし、すし」だと答へる。なるほど喰い倒れの街だけあつて名物が喰べ物ばかりとは面白い。特にまむしは蛇にあらず関東のうなぎのこと、勘定高いのもこの名物の一つ？面白いといへば言葉も又面白い。コイさんと言うのは大阪のお嬢さんのことだそうである。荒つばい茨城弁とは対象的にやわらかみのある関西弁、向うの人同志で話し合つている言葉は一寸判り難いようだ、向うもこちらの言葉は判り難いから相ツコだが。それから名物の一つは橋の多いこと縦横に走つている川、川といつてもドブ川に懸る八百八橋ということだが現在では千以上もあるそうだ。橋の名も「橋づくし」で歌われているようにさまざまあり、心齋橋、日本橋、四ツ橋、天神橋、戎橋、道頓堀橋など有名な橋が相並んで賑やかな通りから通りを結んでいる。天神橋の近くにある天満天神はココはこの細道じや天神様の細道じやの童唄で有名であり、また東京の神田祭、京都の祇園祭、それからこの天満天神の天神祭が日本の三大祭りとして有名であるそうだ。

つれづれなるまま宿を出て、ブラリと夜の街をさまよう。大阪の盛り場といへば、まず梅田、千日前、道頓堀から心齋橋筋、林芙美子の小説「めし」に出てくるジャンジャン横丁、お上りさん、お下りさんの群に混り、人波に押されながらブラリブラリといへばいかにもゆつたりとしているようだが、実はキヨロキヨロ、物珍らしげに田舎者丸出しで歩いたわけ。道頓堀の夜景はさすがに

歌や詩に出てくるだけあつて、赤い灯、青い灯、五色のネオンが川面に写つて別天地に遊ぶ感じだつた。昼はドブ臭い川だが夜になると値千金というところ、ネオンの規模も一つで数百万円というのもあり大阪商人のたくまじき商魂を見せつけられるようだ。心齋橋筋の人並もまつたくすさまじく、喰べ物屋など軒を並べて「喰い倒れ」を歌歌しているようだつた。

心齋橋筋というのが、大阪駅を南の方向に向つて走る主要な道路には、みな筋という言葉がつく。流行歌にも出てくる御堂筋、道頓堀筋、堺筋などの名称がそれである。

夜を彩るものの一つに近代的設備を誇るキャバレー、バーなどのきらびやかな女性にも、ちよつと田舎者には縁が遠く、財布の中身がそれ以上に恐ろしいほどの豪華さだ。夜の遊覧バスに乗ると大阪随一のキャバレー美人座を一寸のぞくことができる。コマ舞台上に展開される関西美人のきらびやかなシヨウに目をうばわれ、半身もあらわな美人ダンサーにも好奇の瞳をキョロキョロ、ここから賑やかな盛り場を徒歩見物、新世界に出て通天閣に昇り夜の市街の美しい眺めを満喫する。ここにジャンジャン横丁がある。大阪城は電光に浮び上つて輝き、石垣の石の大きさにも豊太閤の武威が偲ばれている。大きな石は縦に6米、横11米余にも及び、昔この石をどういう方法でここまで運んだものかと考えるのも興味が深い。

泊つた旅館は盛り場特有の賑わいで、午前三時頃までは自動車の喧騒と酔客の怒声などで眠られず、やつとまどろむと六時頃からまた喧騒がはじまる。僅か一夜の大阪の夜は眠らせてくれなかつた。

統計大会の会場は、中の島の新朝日会館の中にある東洋一を誇るフェスティバルホール、もちろん本大会の会場としては初めての豪華な会場だそうである。入口から会場全体に赤いジユウタンが敷きつめられ喫煙室以外はすべて禁煙、愛煙家にはお気の毒みたい。この大会に全国から馳せ参じた統計マンの数は約3,000人、本県からの参加者は50人であつた。

午前9時30分、大会の幕は満場の拍手のうちに始められる。地元大阪府知事、大阪市長のあいさつに引続き大会長大内兵衛氏のあいさつがあり、表彰式に入る。表彰は統計マン最高の榮譽である大内賞の授与、各省関係の表彰、本県関係では農林大臣賞が大洗町、出島村、北茨城市、個人賞が波崎町溝口書記に授与され、次いで全国統計協会連合会長賞の栄に輝く川上県農林統計係長、つづいて統計論文、統計図表の表彰が行われ、祝辞、祝電

披露、祝辞には益谷國務大臣（行管長官）なども登場して色彩を添える。受賞者代表の謝辞があり表彰式を閉じ議事に入り、宮城県調査課長の「地方統計の自主性の助長について」神奈川県統計課長の「統計調査員報酬の増額要求について」和歌山県統計課長の「統計予算の諸問題について」山口県萩市統計課長の「統計機構の問題点について」などの議案説明があり、直ちに全議案を審議委員付託とし、午前の行事を終了した。

昼の休憩時間には会場の中ホールに展示された統計図表入選作品を観る。さすがに全国から選ばれた作品だけあつて、小学生の作品でも構図、色彩など申し分なく、中学、高校生の作品は大人も及ばぬほどの優秀作品であり、一般では商売人が画いたかと思われるほど鮮かな出来栄で参観者を感嘆させた。

午後1時から研究発表を行ない、統計事務従事者の日頃の体験にもとづく貴重な発表は参観者を感銘させ、つづいて議事を再開、議案審査の経過報告ののち、これを万場一致で採決し、これが実現方について強力に関係方面に折しよする旨の報告があり、来年の開催地を岡山県で開催することに決定した報告につづき、岡山県統計課長のあいさつがあり、次に宣言、決議を万場一致で可決し、法政大学学長大内兵衛先生の「新しき日本の歩み」と題する講演を最後に、今後の統計事業の輝しき発展を祝して力強い万歳三唱が大会場をゆるがし、ここに意義深き第10回統計大会の幕は閉ざされたのであつた。

私は、この大会に参加された大勢の統計マンが、大会の意識を認識し、終始熱心に、和氣あいあいに楽しい一日を、統計発展のために一致団結してまい進する真剣な姿に心から感激し、いかに地味な縁の下の力持的な統計業務であつても、この仕事現在の社会に対して有する意義の重要性を改めて再認識し、統計マンとしての誇りと自覚が胸中に湧き、豊かな感激に浸ることが出来た。

午後4時からは近畿各府県の好意による、地方色豊かな珍しい郷土民芸が、遠来の人々を慰さめてくれ、午後6時意義深き大会場に別れを告げた。

帰途は時間のあるままにバスで奈良に立寄り、東大寺奈良公園を見学、人懐っこい鹿に愛着を感じ、日本一の美男子大仏様を拝み、宇治の平等院を巡り、「夏草や莖者どもが夢の跡」の感慨に更けりながら京都に向い、これも馳け足で清水寺や、その付近の名勝、旧蹟に往時を偲びながら京都駅から、夜の急行で関西の地に別かれを告げ、塩辛い味噌汁が恋しい郷土に向つて暗の東海道を一路東に進んだ。



全統連会長賞の光栄に浴して

川上正之介

われら待望の統計の大祭典第10回全国統計大会は、秋たけなわの10月15日、大阪府ご自慢の新朝日会館において盛大に開催されました。

本県からは統計課長を始め、市町村長、統計関係者等40数名が参加しました。私は被表彰者の一員として参列の榮に浴しました。

この日大会場につどう統計マンは3,000余名、さしも東洋一を誇る会場も統計一色に塗り換えられた感がありました。開会はずいぶん午前9時満堂をゆるがす拍手のうちに開幕し、地元を代表して大阪府知事ならびに大阪市長の歓迎のことば、続いて大内大会長のあいさつのことばがあつてのち、統計マン最高の栄誉である大内賞の授与、各省大臣の表彰と進められ、いよいよ全統連会長の表彰に移り、自分の名が呼ばれた時の感激はまたひとしおでありました。

顧みますれば、昭和22年統計界に身を投じて10数年、主として農林統計に従事して参りましたが、これとして目立つ功績もなく、ただ平凡にその日を送つたに過ぎないのに、かかる表彰を受けようとは夢にも思つていなかっただけに、誠に恐縮至極であります。

今回の榮は一に上司をはじめ先輩諸兄のご尽力と、同僚各位のご協力、市町村統計関係者および調査員の皆様方の御支援の賜と深く感激いたしている次第であります。

いまや国際的の大事業である世界センサスの準備が進められているおり、決意を新にして統計事業向上発展のため微力をつくし今日の榮譽に答えたいとたく誓うものであります。
(県統計課農林統計係長)

第10回全国統計大会宣言

全国統計人の結束と統計の発展とを願つて開催された全国統計大会は、ここに第10回を迎えていよいよ盛大となつた。この間、わが国統計の発展はきわめてめざましく、統計の制度、技術もまた著しい進歩をとげた。

われわれは自ら作成する統計が、わが国の発展の指針または基盤として重要な役割を果していることに大きな誇りを感じるとともに、朝野を問わず、将来、統計の利用がますます高まつてゆく時勢からみて、より高度の自覚と責任とがわれわれに要求されていると感じる。

また統計は国の姿を世界へ示す好個の紹介状であり、かつ信頼できる統計が国と国とを結ぶ強い絆であることを思えば、われわれは国際人としての自覚を念頭において、常に国際社会への関心を高め、内外の新しい統計の歩みを探究することに努めなければならない。

われわれはここに思いをいたし、第10回全国統計大会が開催されたのを機会として、わが国の統計の今日を築かれた諸先輩の努力に敬意を払うとともに、わが国及びわが国の統計の発展を願つて次のとおり決意する。

- 1, われわれは、近代国家における統計の意義と使命を自覚し、統計の充実と普及に努めるとともに、統計の発展をはばむ一切の障害を克服しよう。
- 1, われわれは、統計が世界共有の文化財であることを認識し、新しい統計知識の研さんにはげみ、国際社会から最高の評価を与えられる日本の統計を作ろう。
- 1, われわれは、統計作成の分野が将来ますます多岐にわたり、その内容もいよいよ複雑化する情勢にあると認めるので、統計調査の円滑な遂行をはかるために、あらゆる知能を結集し努力のすべてを傾けよう。

右宣言する。

昭和34年10月15日

第10回全国統計大会

第10回全国統計大会本県関係被表彰者

農林大臣表彰

沿岸漁業臨時調査

大洗町 北茨城市 出島村

(調査員) 溝口敏男

全国統計協会連合会会長賞

茨城県総務部統計課

川上正之介

統計教育も万能ではない

関 照 次

1 研究実践記録から

私たちは日々の教育指導の中で、努力する割合にむだが多かつたり、役に立たなかつたり、要点をぼかしたりして、いつの間にか惰性に流されてしまうことがたびたびあります。そこで私たち自身にも合理的な考え方、実証的にものごとを処理する態度が必要であることを知ると同時に、子供たちへの指導にも充分考慮せねばならない点が発見されます。特に低学年では根気よく継続的にそしていろいろの角度からの工夫が必要であると思います。又児童の統計的な見方、考え方の態度や能力を培うために、学校や家庭や社会生活の中にある、もつとも身近なことがらを観察し、根気強く○、×などを用いてメモする習慣を身につかせ、それを平易な形で分類し図表化する事も一方法かと思えます。くどくど説明などするより、直観に訴えてなぜこう「なつたのか」という原因までも考えるようになったら、子供たちは反省し向上が望めるのではないのでしょうか。このようなことを考え、児童たちに統計の意義、活用を学年なりに理解させ健全な暮らし方、能率的な学習を望みたいと念願してまいりました。そこでありふれたことですが、私の実践してみた二、三のものについて述べてたいと思います。

A 生活指導に統計を利用

一年生から二年生へと引続き、○×の図表を利用して指導に役立たせました。低学年ではちよつとのことですぐけんかをはじめ、自分勝手なわがままが目立ちます。又落し物や忘れ物が非常に多く、落着きがなく、その場限りの傾向になりやすいのです。そこでよりよい生活をめざすために次の目あてについて話し合い、よい子の図表を作ることにしました。

○わたしはいいこ

調査項目は、児童の実態に即して習慣化させたい面をとりあげました。調査は毎日と週一回の二通りにして実施いたしましたのであります。その日、その週の終りに○×の集計したものを表にかきこみ、自己反省をさせて、約束を守るように努力させてきました。

集計された結果によりますと、各週とも月曜日に忘れるものが多いことがわかり、そこで、生活指導として土曜日に、忘れ物をしないように躾けたのであります。その結果は、大変よくなつて来たのであります。

まだ特殊な子がいて×がついても平気で、忘れると先生がつけてくれるからという子に限つて、二日くらいたつと又なくなってしまうのです。こうした子の中には、たつと忘れてくる子、ぼんやりして忘れてる子、能力がなくて忘れる子といつたありさまで、このような自分から進んで参加しようとする子のために、グループ意識を持たせることにしました。グループ内で一人でも持つてこない、忘れる子がいたら○にならない事になるので、初めは二、三人のためになかなか○にならなかつたのでありますが、数日過ぎますと相互に責任をもつて注意しあうようになり、大変効果的であります。注意せねばならない点は、この意識がすぎて約束のできない子をいじめたり、あるいは仲間はずれにしたりするといったことのないように留意せねばならないと思うわけであります。

| わたしはいいこ | | 2の1 A 5.11~5.18 | | |
|---------|-----------|--------------------|------|------|
| 月 | 日 | 5.11 | 5.12 | 5.13 |
| は | み が き | ○ | ○ | × |
| な | ふ だ | ○ | ○ | ○ |
| て | ふ き | × | ○ | |
| ち | り が み | ○ | ○ | |
| つ | く え の 中 | × | ○ | |
| ぞ | う き ん | ○ | ○ | |
| げ | た ば こ | ○ | ○ | |
| ま | と め | ○ | ()× | |
| ま | い に ち 行 う | | | |

| わたしはいいこ | | | | |
|-----------|-----------|-------|------|--|
| ○ よい | | × わるい | | |
| 月 日 | | 5.18 | 5.25 | |
| ま | も る こ と | | | |
| 手 | あ しの つ め | ○ | ○ | |
| し | た ぎ | × | ○ | |
| み | み あ か | × | | |
| ボ | タ ン ホ ッ ク | ○ | | |
| ま | と め | ○ | | |
| 週 一 回 行 う | | | | |

同じような方法で、実施したものに、次のようなものがあります。

○ **こんしゅうのめあて**

毎週発表される目標についてグラフを作り、実践状況を書き入れる○、×を記入することに興味をもつとともに、知らず知らずのうちに努力事項の徹底もなされるようになったのであります。

○ **いいこはだれ**

しかしながら、このような作業を通して習慣化をはかる点で、非常に効果的であるが、おたがいにつげ口を言つて他の児童の悪いところを見つけようとする反面良いことはちつとも表われないので、下図のようにして競争をさせてみた。これは親切にしたり、仲良く勉強したり何でもよいことにしたのです。いい子のいるグループの欄に顔をかいていき、よい行いをしたことを学級で認めあつていくうちに、目のとどかなかつたところでの遊び、いたずら、危ないところへ行つて遊ぶといったことが、だんだん少なくなってきた感じがします。ともかく、他人のいいことはほめあい、自分でもよいことをしようとする態度がいくらか芽生えてきたのではないかと考えているものであります。

| いいこはだれ | | | |
|--------|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| も | ば | う | つ |
| も | ら | め | ば |
| | | | き |

○ **持ちものしらべ**

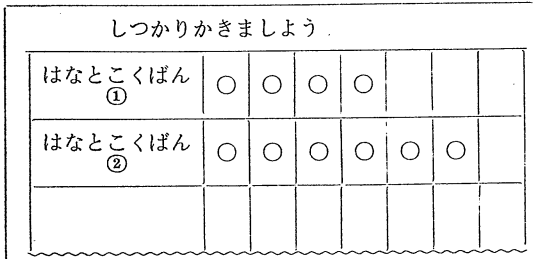
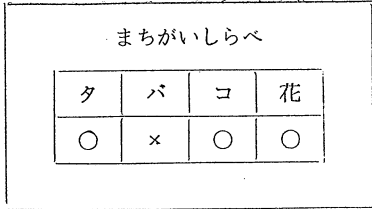
係の児童が班ごとにしらべることになっております。全部持ちものが揃っている人は○をもらうわけです。持ちものには全部記名させて物の数を常に確認させておきますと、忘れたり落したりするとすぐ気がつき、物をむだにすることも少なくなるように考えております。これもグループ別にまとめた事によつて一層徹底させることができたように思います。

| わすれません 5.1~5.8 (もちもの) | | | |
|--------------------------|---|---|---|
| × | ○ | ○ | ○ |
| ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ | ○ | × | |
| ○ | ○ | ○ | × |
| ○ | ○ | ○ | |
| も | ば | う | つ |
| も | ら | め | ば |
| | | | き |

B **学習効果の向上のために**

現在問題となつている基礎学力の充実について、確かさをもつ習得という点を重視して、工夫してみました。その断片であります。国語における漢字、カタカナの習得という点について述べてみたいと思ひます。

よく、ノートをしらべてみると、非常にまちがいが多かつたり、わからない字などをよくみつけるのであります。これをみて、いつも「なぜこうなつたのか」これをたすけるためには、どうしたらよいかと考えさせられるのであります。そこで、まずその原因はどこにあるかをよくつきとめ、各個人についての誤答表の作成を考えたのであります。個人別に「しつかりききましよう」というわけです。成績の得点を記入するグラフを作りました。一回のテストは10題にして、朝の実習時に実施します。昼休みに各自で正しい数だけ○で記入し、まちがいしらべの表に実施した漢字、カタカナを正しくかきこみます。下の段には出来ていたら○、まちがっていたら×を書き入れます。それをまちがいしらべ用紙にはりつけておきます。それは、家庭学習自習時に自分のまちがいやすい文字の練習になり、各自の進歩をめざした能率的な練習、進んで学習するきっかけになりました。間違いは調査の結果、不注意によるものが43%で、何度指導しても12%しか少なくなかなかつたのであります。それが表への記入を始めたところ大変に減つて、注意深く見る態度と丁寧に書く習慣がだんだんついてきたように思われます。



○……………出来たかず

はなとこくばん

①——一回目

②——二回目

まちがいしらべ

| かんじ | 年 | 生 | 字 | 赤 | チ | ユ | ウ | リ | ツ | ブ |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| まちがった数 第一回目 | 28 | 28 | 30 | 11 | 3 | 2 | 3 | 0 | 16 | 8 |
| 正しかつた数 | 28 | 28 | 36 | 45 | 53 | 54 | 53 | 56 | 40 | 48 |
| まちがった数 第二回目 | 22 | 11 | 8 | 6 | 3 | 2 | 3 | 0 | 5 | 5 |

調査人員 56名

調査日 { 4月13日——1回目
4月28日——2回目

2 生活と統計

前述した実践記録は、大貫小学校における実際活動の一部分を掲載したに過ぎませんが、十分に統計を駆使して生活指導、学習指導の効果をあげていられる点、まことに敬服させられました。

われわれの生活と統計の結びつき方を考えました場合統計を利用することによって直接になにか変化を与える結びつき方が一つあると思います。このことは、大きく言えば統計を基礎として、直接的な影響が与えられた場合で、これは計画化、合理化と結びつく場合であります。前に述べたような実践例はこれであるわけですが、計画化、合理化も度を過ぎては問題であります。学校社会は、いわば一つの共同体でありまして、師弟を結びつけているのは師弟愛の情であり、この愛情をぬきにしては考えられません。愛情というものとは元来合理的

計画的なものではありません。共同体の本質から考えてそれを統計という手段で、無理に合理化、計画化しようとし、合理性からくる非合理性とでも言えましょうか、そこに摩擦が生じてくることにもなります。そこでやはりその限界をはつきり押えてかかる必要が大切になつてくるのであります。ある目標を達成するために、生活を合理化することは止むを得ないことですが、統計的手法による合理化、計画化には一定の限度があることも考えたいと思います。生活指導のような場合を考えてみましても、先生方が指摘されているような問題が出てまいりますので、こうした面をどのように導いていくか、やはりこれらは教師の温かい愛情によつてたすけ、しかも合理性からくる非合理性といったものにならぬように留意したいものだと考えております。

(県教育庁庶務調査課主事)

統計教育研究学校

| 研究 年次 | 研 究 課 題 | 学 校 名 |
|----------|-----------------------|---------------|
| 3 | 教科学習に統計をどのように活用したらよいか | 東茨城郡大洗町立大貫小学校 |
| 〃 | 算数及び特活における統計教育 | 那珂郡緒川村立小瀬第一〃 |
| 〃 | 統計教育の進め方 | 常陸太田市立菅田〃 |
| 〃 | 統計教育の実践的研究 | 行方郡玉造町立羽生〃 |
| 〃 | 小学校における統計教育の実践 | 筑波郡豊里町立今鹿島〃 |
| 〃 | 統計教材の編成とその指導 | 水海道市立菅原〃 |
| 〃 | 特活における統計教育の実践 | 北茨城市立精華〃 |
| 〃 | 道徳教育における統計資料の活用 | 石岡市立府中〃 |
| 〃 | 特活における統計教育 | 西茨城郡友部町立大原中学校 |
| 〃 | 統計を活用した能率的学習展開 | 鹿島郡神栖村立神栖第二〃 |
| 〃 | 学習効果を高めるための統計教育 | 稲敷郡峯崎村立峯崎〃 |
| 〃 | 特活における統計教育の研究 | 古河市立古河第二〃 |
| 〃 | 統計教育による地域社会の開發 | 下妻市立下妻〃 |
| 〃 | 生活指導と統計の利用 | 北相馬郡取手町立永山〃 |
| 2 | 教科学習を通して統計教育の実践研究 | 水戸市立石川小学校 |
| 〃 | 生活指導における統計教育の位置と体系確立 | 新治郡新治村立新治中学校 |
| 〃 | 中学校における統計教育の実践 | 結城市立江川中〃 |
| 1 | 学習指導における統計教育の研究 | 笠間市立笠間小学校 |
| 〃 | 〃 | 久慈郡大子町立上小川〃 |
| 〃 | 小学校における統計教育の研究実践 | 稲敷郡江戸崎町立江戸崎〃 |
| 〃 | 教科学習における統計教育の研究 | 結城郡千代川村立大形〃 |
| 〃 | 中学校経営と統計教育の活かし方 | 勝田市立勝田第三中学校 |

事業所の自動車保有状況

昭和33年の工業統計調査の付帯調査として、事業所の保有している自動車の台数の調査が行われたが、その結果が次のように集計された。

この調査の方法

1. この調査は、従業者4人以上の事業所を対象としている。
2. 調査の対象となる自動車
 - イ 事業所または事業所代表者の名称で登録してあるもの（修理中や使用休止中のものも含む）
 - ロ 事業所の属する企業（会社など）または企業代表者の名称で登録してあるもので、主として事業所で使用しているもの（修理中や使用休止中のものも含む）
 - ハ 事業所または事業所代表者の名称で登録してあるもので、事業所から他の企業に貸与してあるもの
3. この調査の対象とならない自動車
 - イ 昭和33年12月31日現在登録手続の完了していないもの。
 - ロ 他から借入れて使用しているもの。
 - ハ 調査事項に属さないもの、たとえば、バス、宣伝車、消防車、クレーントラック、トラクターなど。

自動車保有台数

| 産業別 | 従業者 規模別 | 事業所数 A | 普通 | | | 乗用車 | 二輪自動車 | | | 計 B | B A |
|---------------------|------------|-----------|------|--------------|------------|-----|-----------|---------------|-------------|--------|--------|
| | | | トラック | 小型四輪 トラック | 三輪 トラック | | オートバ イ | モーター スクーター | 原動機付 自転車 | | |
| 総計 | 計 | 2,612 | 442 | 909 | 888 | 182 | 774 | 392 | 603 | 4,190 | 1.6 |
| | 4人～9人 | 1,370 | 79 | 234 | 415 | 12 | 363 | 122 | 207 | 1,432 | 0.8 |
| | 10～19 | 696 | 108 | 255 | 221 | 31 | 188 | 81 | 92 | 976 | 1.4 |
| | 20～29 | 221 | 60 | 142 | 78 | 30 | 74 | 59 | 56 | 499 | 2.3 |
| | 30～49 | 152 | 59 | 104 | 73 | 22 | 68 | 56 | 42 | 424 | 2.8 |
| | 50～99 | 122 | 56 | 110 | 63 | 28 | 49 | 34 | 41 | 381 | 3.1 |
| | 100～199 | 24 | 13 | 18 | 9 | 10 | 5 | 7 | 3 | 65 | 2.7 |
| | 200～299 | 12 | 16 | 9 | 3 | 9 | 12 | 4 | 7 | 60 | 5.0 |
| | 300～499 | 6 | 14 | 4 | 6 | 8 | 3 | 10 | 28 | 73 | 12.1 |
| | 500～999 | 2 | 13 | 4 | — | 3 | 1 | 1 | 2 | 24 | 12.0 |
| 1000以上 | 7 | 24 | 29 | 20 | 29 | 11 | 18 | 125 | 256 | 36.6 | |
| 食料品 製造業 | 計 | 867 | 103 | 381 | 442 | 42 | 241 | 85 | 124 | 1,418 | 1.6 |
| | 4人～9人 | 500 | 17 | 128 | 246 | 2 | 125 | 37 | 80 | 635 | 1.3 |
| | 10～19 | 255 | 35 | 144 | 115 | 13 | 52 | 20 | 24 | 403 | 1.6 |
| | 20～29 | 63 | 16 | 59 | 37 | 7 | 23 | 20 | 13 | 175 | 2.8 |
| | 30～49 | 28 | 20 | 29 | 30 | 9 | 19 | 7 | 5 | 119 | 4.3 |
| | 50～99 | 13 | 4 | 14 | 13 | 7 | 15 | — | 2 | 55 | 4.2 |
| | 100～199 | 6 | 5 | 4 | 1 | 3 | 3 | 1 | — | 17 | 2.8 |
| | 200～299 | 1 | 3 | 1 | — | — | 4 | — | — | 8 | 8.0 |
| | 300～499 | 1 | 3 | 2 | — | 1 | — | — | — | 6 | 6.0 |
| | 繊維工業 | 計 | 152 | 2 | 32 | 10 | 5 | 54 | 8 | 27 | 138 |
| 4人～9人 | | 74 | — | 6 | 1 | — | 22 | 3 | 12 | 44 | 0.6 |
| 10～19 | | 44 | — | 3 | 4 | 1 | 13 | 2 | 5 | 28 | 0.6 |
| 20～29 | | 14 | — | 4 | 1 | 1 | 5 | — | 1 | 12 | 0.9 |
| 30～49 | | 10 | — | 10 | 1 | — | 4 | 2 | 5 | 22 | 2.2 |
| 50～99 | | 6 | — | 7 | 3 | 1 | 3 | — | 1 | 15 | 2.5 |
| 200～299 | | 3 | 2 | 2 | — | 2 | 7 | 1 | 3 | 17 | 5.7 |
| 300～499 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 衣服及び 繊維製品 製造業 | 計 | 108 | — | 12 | 2 | 3 | 18 | 6 | 9 | 50 | 0.5 |
| | 4人～9人 | 65 | — | 2 | 1 | — | 3 | 2 | 3 | 11 | 0.2 |
| | 10～19 | 26 | — | 5 | — | 1 | 10 | 2 | 3 | 21 | 0.8 |
| | 20～29 | 5 | — | — | — | 1 | — | 1 | — | 2 | 0.4 |
| | 30～49 | 7 | — | 3 | 1 | 1 | 3 | 1 | — | 9 | 1.3 |
| | 50～99 | 4 | — | — | — | — | 2 | — | 3 | 5 | 1.3 |
| 100～199 | 1 | — | 2 | — | — | — | — | — | 2 | 2.0 | |

| 産業別 | 従業者 規模別 | 事業所数 A | 普通 | | | 乗用車 | 二輪自動車 | | | 計 B | B | |
|----------------------------|------------|-----------|------|--------|--------|-----|-------|---------------|-------------|--------|------|--|
| | | | トラック | 小型トラック | 四輪トラック | | オートバイ | モーター スクーター | 原動機付 自転車 | | A | |
| 木材及び 木製品 製造業 | 計 | 403 | 161 | 92 | 94 | 31 | 148 | 52 | 80 | 658 | 1.6 | |
| | 4人～9人 | 249 | 48 | 34 | 56 | 9 | 87 | 24 | 30 | 288 | 1.2 | |
| | 10～19 | 116 | 64 | 31 | 29 | 14 | 42 | 12 | 16 | 208 | 1.8 | |
| | 20～29 | 24 | 25 | 14 | 2 | 6 | 14 | 4 | 5 | 70 | 2.9 | |
| | 30～49 | 10 | 15 | 7 | 4 | — | 4 | 3 | 2 | 35 | 3.5 | |
| | 50～99 | 3 | 7 | 6 | — | 2 | 1 | 3 | 1 | 20 | 6.7 | |
| 300～499 | 1 | 2 | — | 3 | — | — | 6 | 26 | 37 | 37.0 | | |
| 家具及び 装備品 製造業 | 計 | 84 | 11 | 26 | 18 | 3 | 23 | 18 | 19 | 118 | 1.4 | |
| | 4人～9人 | 56 | 4 | 10 | 13 | 1 | 10 | 9 | 12 | 59 | 1.1 | |
| | 10～19 | 19 | — | 9 | 2 | — | 6 | 5 | 4 | 26 | 1.4 | |
| | 20～29 | 7 | 7 | 5 | 3 | 1 | 7 | 4 | 3 | 30 | 4.3 | |
| 50～99 | 2 | — | 2 | — | 1 | — | — | — | 3 | 1.5 | | |
| パルプ、 紙及び紙 加工品 製造業 | 計 | 41 | 3 | 12 | 13 | 2 | 16 | 5 | 11 | 62 | 1.5 | |
| | 4人～9人 | 24 | — | 2 | 4 | — | 8 | 1 | 7 | 22 | 0.9 | |
| | 10～19 | 7 | — | 5 | — | — | 2 | 2 | 2 | 11 | 1.6 | |
| | 20～29 | 5 | — | 3 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 11 | 2.2 | |
| | 30～49 | 2 | 1 | 1 | 4 | — | 3 | — | — | 9 | 4.5 | |
| | 50～99 | 2 | 1 | 1 | 2 | — | 1 | — | 1 | 6 | 3.0 | |
| 200～299 | 1 | 1 | — | 1 | 1 | — | — | — | 3 | 3.0 | | |
| 印刷出版 及び関連 産業 | 計 | 81 | — | 12 | 2 | 6 | 31 | 30 | 21 | 102 | 1.3 | |
| | 4人～9人 | 42 | — | 1 | 1 | — | 9 | 11 | 8 | 29 | 0.7 | |
| | 10～19 | 21 | — | 1 | 1 | — | 12 | 9 | 3 | 26 | 1.2 | |
| | 20～29 | 10 | — | 4 | — | 3 | 3 | 3 | 8 | 21 | 2.1 | |
| | 30～49 | 5 | — | 4 | — | — | 4 | 3 | 1 | 12 | 2.4 | |
| | 50～99 | 2 | — | 1 | — | 1 | 3 | 2 | 1 | 8 | 4.0 | |
| 100～199 | 1 | — | 2 | — | 2 | — | 2 | — | 6 | 6.0 | | |
| 化学工業 | 計 | 25 | 10 | 7 | 12 | 3 | 8 | 2 | 4 | 46 | 1.8 | |
| | 4人～9人 | 12 | 1 | 1 | 8 | — | 5 | — | 1 | 16 | 1.3 | |
| | 10～19 | 5 | 1 | 4 | 2 | — | — | — | 1 | 8 | 1.6 | |
| | 20～29 | 3 | — | 2 | 1 | — | — | — | 1 | 4 | 1.3 | |
| | 30～49 | 2 | 5 | — | 1 | — | 3 | 1 | — | 10 | 5.0 | |
| | 50～99 | 2 | 3 | — | — | — | — | — | 1 | 4 | 2.0 | |
| 300～499 | 1 | — | — | — | 3 | — | 1 | — | 4 | 4.0 | | |
| 石油及び 石炭製品 製造業 | 計 | 7 | 8 | 5 | 5 | 2 | 10 | — | 2 | 32 | 4.6 | |
| | 4人～9人 | 1 | — | — | 1 | — | — | — | — | 1 | 1.0 | |
| | 10～19 | 1 | — | 1 | 1 | — | — | — | 1 | 3 | 3.0 | |
| | 20～29 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | — | — | 6 | 6.0 | |
| | 30～49 | 1 | 1 | — | — | 1 | 1 | — | — | 3 | 3.0 | |
| 50～99 | 3 | 6 | 3 | 2 | — | 7 | — | 1 | 19 | 6.3 | | |
| ゴム製品 製造業 | 計 | 2 | — | 2 | — | — | — | — | — | 2 | 1.0 | |
| | 4人～9人 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| 10～19 | 1 | — | 2 | — | — | — | — | — | 2 | 2.0 | | |
| 皮革及び 皮革製品 製造業 | 計 | 6 | 1 | 2 | — | 1 | 1 | — | — | 5 | 0.8 | |
| | 4人～9人 | 2 | — | 1 | — | — | 1 | — | — | 2 | 1.0 | |
| | 10～19 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| | 20～29 | 1 | — | 1 | — | — | — | — | — | 1 | 1.0 | |
| | 30～49 | 1 | 1 | — | — | — | 1 | — | — | 2 | 2.0 | |
| 50～99 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | | |
| 窯業及び 土石製品 製造業 | 計 | 241 | 91 | 30 | 76 | 11 | 69 | 23 | 43 | 343 | 1.4 | |
| | 4人～9人 | 140 | 4 | 11 | 46 | — | 41 | 11 | 22 | 135 | 1.0 | |
| | 10～19 | 54 | 6 | 7 | 24 | — | 15 | 4 | 12 | 68 | 1.3 | |
| | 20～29 | 12 | 9 | 1 | 4 | 1 | 3 | 2 | 1 | 21 | 1.8 | |
| | 30～49 | 14 | 13 | 2 | — | 1 | 5 | 3 | 4 | 28 | 2.0 | |
| | 50～99 | 13 | 26 | 2 | 2 | 4 | 3 | 1 | 4 | 42 | 3.2 | |
| | 100～199 | 4 | 7 | 1 | — | — | — | — | — | 8 | 2.0 | |
| | 200～299 | 2 | 5 | 1 | — | — | — | — | — | 6 | 3.0 | |
| | 300～499 | 1 | 8 | 2 | — | — | 2 | — | — | 16 | 16.0 | |
| | 500～999 | 1 | 13 | 3 | — | — | 3 | — | — | 19 | 19.0 | |

| 産業別 | 従業者 規模別 | 事業所数 A | 普通 | | | 乗用者 | 二輪自動車 | | | 計 B | B A |
|--------------------|------------|-----------|------|--------|--------|-----|-------|---------------|-------------|--------|--------|
| | | | トラック | 小型トラック | 四輪トラック | | オートバイ | モーター スクーター | 原動機付 自転車 | | |
| 鉄鋼業 | 計 | 22 | 1 | 15 | 5 | 5 | 5 | 8 | 32 | 71 | 3.2 |
| | 4人～9人 | 7 | — | 3 | 1 | — | — | 1 | 2 | 7 | 1.0 |
| | 10～19 | 9 | — | 4 | 2 | — | 2 | 1 | 2 | 11 | 1.2 |
| | 20～29 | 1 | — | 1 | — | — | — | — | — | 1 | 1.0 |
| | 30～49 | 3 | — | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | — | 9 | 3.0 |
| | 50～99 | 1 | 1 | — | — | 1 | — | — | — | 2 | 2.0 |
| | 100以上 | 1 | — | 4 | — | 3 | 2 | 4 | 28 | 41 | 41.0 |
| 非鉄金属 製造業 | 計 | 14 | 9 | 9 | 11 | 8 | 1 | 3 | 5 | 46 | 3.3 |
| | 10人～19人 | 5 | — | 1 | 3 | — | — | 2 | 1 | 7 | 1.4 |
| | 20～29 | 5 | — | 4 | 3 | — | — | — | 3 | 10 | 2.0 |
| | 30～49 | 1 | — | 1 | — | — | — | 1 | — | 2 | 2.0 |
| | 200～299 | 1 | 2 | 1 | — | 2 | — | — | — | 5 | 5.0 |
| | 1000以上 | 2 | 7 | 2 | 5 | 6 | 1 | — | 1 | 22 | 11.0 |
| 金属製品 製造業 | 計 | 103 | — | 50 | 30 | 2 | 25 | 33 | 17 | 157 | 1.5 |
| | 4人～9人 | 42 | — | 13 | 5 | — | 11 | 7 | 7 | 43 | 1.0 |
| | 10～19 | 33 | — | 14 | 7 | — | 12 | 9 | 3 | 45 | 1.4 |
| | 20～29 | 9 | — | 7 | 3 | 1 | — | 3 | 1 | 15 | 1.7 |
| | 30～49 | 11 | — | 5 | 6 | 1 | 1 | 10 | 6 | 29 | 2.6 |
| | 50～99 | 7 | — | 10 | 8 | — | 1 | 4 | — | 23 | 3.3 |
| | 100～199 | 1 | — | 1 | 1 | — | — | — | — | 2 | 2.0 |
| 機械 製造業 | 計 | 123 | 10 | 58 | 42 | 9 | 49 | 25 | 39 | 232 | 1.9 |
| | 4人～9人 | 46 | 1 | 7 | 12 | — | 19 | 5 | 8 | 52 | 1.1 |
| | 10～19 | 25 | — | 7 | 11 | — | 7 | 5 | 5 | 35 | 1.4 |
| | 20～29 | 13 | — | 8 | 5 | 2 | 5 | 2 | 9 | 31 | 2.4 |
| | 30～49 | 18 | 1 | 19 | 6 | 2 | 15 | 7 | 9 | 59 | 3.3 |
| | 50～99 | 18 | 5 | 17 | 8 | 2 | 3 | 5 | 6 | 46 | 2.6 |
| | 100～199 | 2 | 1 | — | — | 1 | — | — | — | 2 | 1.0 |
| | 1000以上 | 1 | 2 | — | — | 2 | — | 1 | 2 | 7 | 7.0 |
| 電気機械 器具製造 業 | 計 | 151 | 20 | 111 | 100 | 34 | 29 | 71 | 144 | 509 | 3.4 |
| | 4人～9人 | 30 | — | 5 | 8 | — | 6 | 2 | 5 | 26 | 0.9 |
| | 10～19 | 22 | — | 7 | 13 | 1 | 1 | 6 | 2 | 30 | 1.4 |
| | 20～29 | 30 | — | 22 | 14 | 3 | 4 | 16 | 6 | 65 | 2.2 |
| | 30～49 | 26 | 1 | 13 | 15 | 2 | 2 | 11 | 8 | 52 | 2.0 |
| | 50～99 | 31 | 1 | 33 | 23 | 5 | 5 | 17 | 18 | 102 | 3.3 |
| | 100～199 | 5 | — | 4 | 7 | — | 1 | 1 | 3 | 16 | 3.2 |
| | 200～299 | 2 | 2 | 3 | 2 | 3 | — | 3 | 4 | 17 | 8.5 |
| | 300～499 | 1 | 1 | — | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 | 10 | 10.0 |
| | 500～999 | 1 | — | 1 | — | — | 1 | 1 | 2 | 5 | 5.0 |
| 1000以上 | 3 | 15 | 23 | 15 | 18 | 8 | 13 | 94 | 186 | 62.0 | |
| 輸送用機 械器具製 造業 | 計 | 34 | 8 | 17 | 6 | 2 | 12 | 4 | 3 | 52 | 1.5 |
| | 4人～9人 | 16 | 1 | 2 | 3 | — | 4 | 1 | 2 | 13 | 0.8 |
| | 10～19 | 6 | 2 | 3 | — | — | 2 | — | 1 | 8 | 1.3 |
| | 20～29 | 3 | 1 | 2 | — | — | 2 | 1 | — | 6 | 2.0 |
| | 30～49 | 4 | 1 | 2 | 2 | — | 1 | — | — | 6 | 1.5 |
| | 50～99 | 4 | 2 | 7 | 1 | 1 | 2 | 2 | — | 15 | 3.8 |
| | 200～299 | 1 | 1 | 1 | — | 1 | 1 | — | — | 4 | 4.0 |
| 精密機械 器具製造 業 | 計 | 37 | — | 5 | 3 | 3 | 10 | 2 | 4 | 27 | 0.7 |
| | 4人～9人 | 10 | — | — | — | — | 4 | — | — | 4 | 0.4 |
| | 10～19 | 17 | — | 2 | 2 | — | 4 | 1 | 3 | 12 | 0.7 |
| | 20～29 | 4 | — | — | 1 | 1 | — | — | 1 | 3 | 0.8 |
| | 30～49 | 4 | — | 2 | — | — | 1 | 1 | — | 4 | 1.0 |
| 100～199 | 2 | — | 1 | — | 2 | 1 | — | — | 4 | 2.0 | |
| 武器 製造業 | 計 | 2 | — | — | — | — | 1 | — | — | 1 | 0.5 |
| | 20人～29人 | 1 | — | — | — | — | 1 | — | — | 1 | 1.0 |
| | 200～299 | 1 | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| その他の 製造業 | 計 | 109 | 4 | 31 | 17 | 10 | 23 | 17 | 19 | 121 | 1.1 |
| | 4人～9人 | 53 | 3 | 9 | 9 | — | 8 | 8 | 8 | 45 | 0.8 |
| | 10～19 | 29 | — | 5 | 5 | 1 | 8 | 1 | 4 | 24 | 0.8 |
| | 20～29 | 10 | 1 | 4 | 1 | 1 | 3 | 1 | 3 | 14 | 1.4 |
| | 30～49 | 5 | — | 3 | 1 | 3 | 1 | 4 | 2 | 14 | 2.8 |
| | 50～99 | 10 | — | 7 | 1 | 3 | 3 | — | 2 | 16 | 1.6 |
| | 100～199 | 2 | — | 3 | — | 2 | — | 3 | — | 8 | 4.0 |



工 業 用 水

現在、わが国の主要な工業地帯では、工業用水の需給はきわめて逼迫をつけており、工業用水の不足が、工業の発展にとって大きな障害となつている実情にある。

このような事態に対処して、工業生産の発展を確保するためには、国として工業用水道の布設の促進等の対策を積極的に推進することによつて、工業用水の確保を図ることが必要となつた。

昨年、昭和33年工業統計調査の付帯調査として、工業用水調査が行われたが、この調査は、上述のような工業用水対策推進のための基礎資料として、全国における工業用水の利用状況を地域別、業種別に詳細な統計によつて明らかにしようとしたものである。

(調査の対象)

県下の製造業事業所のうち、従業者数30人以上のものを対象としている。

(用語の説明)

1. 工業用水

工業生産が営まれる事業所で使用される水のこと。(水力発電の用に供するものを除く)

工場内における従業者の飲用、入浴用その他一部の雑用水は、純工業用ではないが、便宜上工業用水としてあつかう。社宅に対する飲料水の供給等工場外で使用されるものは含まれない。

2. 水源別用水量

昭和33年1年間に事業所で使用した工業用水量を操業日数で除した水量(1日当りの水量)の水源別。

使用水量が明らかでない場合は、たとえばポンプの能力と運転時間等から換算した水量

(イ) 公共水道都道府県または市町村によつて経営される工業用水道または上水道から供給を受ける水。

上水道とは、一般の水道のことで人の飲用に適する水を供給するものをいい、工業用水道とは、飲用に適しない工業用水を供給するものをいう。

(ロ) 地表水 河川、湖沼および貯水池の水のこと。

(ハ) 伏流水 河川敷または旧河川敷内から集水埋きよによつて集め取水する水のこと。

(ニ) 井戸水 井戸によつて揚水した水および湧泉水のこと。

(ホ) その他 その他の中には農業用水路から取水する水、坑内排水、他の工場事業場等から供給をうける水等上記(イ)~(ニ)に含まれない淡水で次の回収以外のものをいう。

(ヘ) 回収水 ある工程に一度使用された水を、その工程あるいは他の工程でもう一度使用するために回収した水のこと。冷却用に用いられ高温となつた水を、冷却塔、戻水池などで冷却し、ふたたび冷却用に用いる場合がそ

| 産 業 別 | 従 業 者 規 模 別 | 水 源 別 用 水 | | | | | | |
|-------|----------------|--------------|-------|--------|-------|--------|--------|---------|
| | | 公 共 水 道 | | 地 表 水 | 伏 流 水 | 井 戸 水 | そ の 他 | 回 収 水 |
| | | 工 業 用 水 道 | 上 水 道 | | | | | |
| 総 計 | 計 | 19 | 3,020 | 67,900 | 949 | 19,172 | 15,566 | 252,874 |
| | 人 人 30~ 49 | 19 | 296 | 810 | — | 3,717 | 1 | 212 |
| | 50~ 99 | — | 213 | 2,164 | — | 3,654 | — | — |
| | 100~199 | — | 36 | 2,200 | 400 | 1,247 | — | — |
| | 200~299 | — | 124 | 40,236 | — | 1,437 | — | — |
| | 300~499 | — | 155 | — | 5 | 3,635 | 34 | — |
| | 500~999 | — | 234 | 2,760 | — | 198 | — | 96,280 |
| | 1000以上 | — | 1,962 | 19,730 | 544 | 5,284 | 15,531 | 156,382 |

れで、戻水、循環水などとも呼ばれる。たとえば、1万屯の水を取水してその半分を1日に2度回収使用した場合には、回収水は1万屯日、総使用量は2万屯日となる。

(b) 海水 海から取水するもののほか、河川でも常時潮の影響を受けている部分から取水する場合。

3. 用途別用水量

上記の水源から引水された水は工場内で種々な用途に使われる。昭和33年1年間にこの事業所で使用した工業用水量を操業日数で除した水量1日当りの水量の用途別。

- (イ) ボイラー用水 ボイラー内で蒸気を発生させるために供給使用される水
- (ロ) 原料用水 製品の製造過程において、原料としてそのまま用いられる水、あるいは、製品原料の一部として添加使用される水たとえば、酒造用水、ビール醸造用水、醤油の醸造用水、製氷および清涼飲料製造用水、電解法苛性ソーダ製造における電解用水等のほか、化学薬品製造における添加用水等も原料用水として取り扱う。また、製塩業における原料として使用される海水もこ含にれまれる。
- (ハ) 製品処理用水 原料、半製品、製品などに浸漬、溶解等物理的な処理を加えるために使用される水たとえば、パルプ造製工程におけるパルプの浸漬、溶解用、ビスコース製造工程における苛性ソーダの溶解用、フィルム製造用水、製紙用水、染色用水、皮なめし用水、澱粉、石鹼、ガラス等の製造用に用いられる水等
- (ニ) 洗じょう用水 事業所内の施設および原料、製品の水洗清浄用に供される水たとえば、羊毛工業における洗毛用水、染色整理等における仕上用、その他一般に原料、製品の水洗清浄用および事業所内の生産設備、原料、製品の容器等の水洗清浄用に用いられる水
- (ホ) 冷却用水 各工場の設備あるいは製品の冷却に使用される水
- (ヘ) 温調用水 作業場内の温度および湿度の調整、有毒物の除去のために使用される水。

綿紡、毛紡、人織、化繊など各種の繊維工場、煙草工場、製菓工場あるいは特定の化学工場（フィルム、火柴製造）、機械工場（電子管、X線管の製使その他精密部品の組立）、合板製造工場、印刷工場などでは作業場内の温度および湿度の調整が行われており、このために大量の水が使用されている。また鉛の微粉を飛散させる蓄電池製造や有毒ガスを発散する化学工場ではこれらの有害物を除くために、また、魚、肉、野菜などの冷凍、貯蔵を行う工場ではそのために特殊な空気調整施設を有している。この様に「ある場所の空気の状態を最も適した状態に保つために行われる操作」のことを意味し、このために使用に供される水のことを温調用水といっている。

4. 事業所敷地面積

昭和33年12月31日現在における事業所の敷地面積（事業所における事業用に実際に使用されている敷地の面積をいいたとえば、住宅敷地、運動場、拡張予定地等は含まない。）

敷地面積の調査の必要性について最近の工業生産の拡大に伴って全国の工場地帯は工業用水その他各部分において行きづまりを示しつつあり、新しい工場地帯の造成が大きな課題となりつつある。ところで新しい工場地帯の造成に当って必要とされる工業用水量を想定するには、工場敷地面積と使用される工業用水量についての関係を明らかにしておく必要がある。このため、この調査で単位敷地面積当りの用水使用量を既存の工場について業種別に明らかにして、工業地帯造成計画の指標にしようとしている。

単位立方メートル/日

| 量 | | 用途別用水量 (上段淡水、下段海水) | | | | | | | 合計 (その他を含む) | 事業所敷 地面積 |
|---------|-------|--------------------|-------|-------------|------------|------------------|-------|------------------|------------------------------------|-------------|
| 合計 | 海水 | ボイラー 用水 | 原料用水 | 製品処理 用水 | 洗じょう 用水 | 冷却用水 | 温調用水 | | | |
| 359,500 | 4,934 | 4,556 | 2,619 | 65,646 2 | 48,516 | 232,783 4,932 | 1,345 | 359,500 4,934 | 5,973,901 ^{m²} | |
| 5,055 | 4,934 | 375 | 634 | 897 2 | 2,376 | 344 4,932 | 77 | 5,055 4,934 | 344,643 | |
| 6,031 | — | 785 | 214 | 2,008 | 1,037 | 886 | 16 | 6,031 | 653,900 | |
| 3,883 | — | 268 | 307 | 157 | 467 | 2,610 | 1 | 3,883 | 427,827 | |
| 41,797 | — | 936 | 27 | 3,476 | 36,981 | 266 | 11 | 41,797 | 510,125 | |
| 3,829 | — | 146 | 45 | 835 | 253 | 2,076 | 420 | 3,829 | 336,253 | |
| 99,472 | — | 50 | — | — | 39 | 99,150 | 20 | 99,472 | 95,977 | |
| 199,433 | — | 1,996 | 1,392 | 58,273 | 7,363 | 127,451 | 800 | 199,433 | 3,605,177 | |

| 産 業 別 | 従 業 者 規 模 別 | 水 源 別 用 水 | | | | | | |
|------------------------------|----------------|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| | | 公 共 水 道 | | 地 表 水 | 伏 流 水 | 井 戸 水 | そ の 他 | 回 取 水 |
| | | 工 業 用 水 | 上 水 道 | | | | | |
| 食 料 品 製 造 業 | 計 | — | 247 | 2,200 | 400 | 5,391 | — | — |
| | 30人～49人 | — | 76 | — | — | 2,127 | — | — |
| | 50～99 | — | 146 | — | — | 2,099 | — | — |
| | 100～199 | — | — | 2,200 | 400 | 290 | — | — |
| | 200～299 | — | 25 | — | — | 25 | — | — |
| | 300～499 | — | — | — | — | 850 | — | — |
| 織 維 工 業 | 計 | 3 | 6 | 70 | — | 2,021 | — | 212 |
| | 30人～49人 | 3 | 6 | — | — | 202 | — | 212 |
| | 50～99 | — | — | — | — | 59 | — | — |
| | 200～299 | — | — | 70 | — | 895 | — | — |
| | 300～499 | — | — | — | — | 865 | — | — |
| 衣 服 及 び 織 維 製 品 製 造 業 | 計 | — | — | — | — | 19 | — | — |
| | 30人～49人 | — | — | — | — | 9 | — | — |
| | 50～99 | — | — | — | — | 3 | — | — |
| | 100～199 | — | — | — | — | 7 | — | — |
| 木 材 及 び 木 製 品 製 造 業 | 計 | 3 | — | — | — | 34 | 34 | — |
| | 30人～49人 | 3 | — | — | — | 31 | — | — |
| | 50～99 | — | — | — | — | 3 | — | — |
| | 300～499 | — | — | — | — | — | 34 | — |
| 家 具 及 び 装 備 品 製 造 業 | 計 | — | — | — | — | 5 | — | — |
| | 50人～99人 | — | — | — | — | 5 | — | — |
| パ ル プ、紙 及 び 紙 加 工 品 製 造 業 | 計 | — | 6 | 42,524 | — | 230 | — | — |
| | 30人～49人 | — | 4 | 560 | — | 228 | — | — |
| | 50～99 | — | 2 | 2,164 | — | 2 | — | — |
| | 200～299 | — | — | 39,800 | — | — | — | — |

単位立方メートル/日

| 量 | | 用 途 別 用 水 量 (上段淡水、下段海水) | | | | | | | |
|--------|-------|-------------------------|------|-------------|-------------|----------------|------|---------------------|---------------------------|
| 合 計 | 海 水 | ボイラー 用 水 | 原料用水 | 製品処理 用 水 | 洗じよう 用 水 | 冷却用水 | 温調用水 | 合 計 (その他を 含む) | 事業所敷 地 面 積 |
| 8,238 | 4,934 | 368 | 630 | 1,112 2 | 2,503 | 3,436 4,932 | 65 | 8,238 4,934 | 305,773 m ² |
| 2,203 | 4,934 | 80 | 107 | 71 2 | 1,803 | 50 4,932 | 65 | 2,203 4,934 | 76,761 |
| 2,245 | — | 82 | 182 | 976 | 306 | 696 | — | 2,245 | 33,822 |
| 2,890 | — | 180 | 296 | — | 269 | 2,090 | — | 2,890 | 64,870 |
| 50 | — | — | — | 15 | 35 | — | — | 50 | 33,057 |
| 850 | — | 26 | 45 | 50 | 90 | 600 | — | 850 | 97,263 |
| 2,312 | — | 277 | 214 | 1,704 | 21 | 10 | 2 | 2,312 | 261,509 |
| 423 | — | 74 | 214 | 119 | — | 10 | 2 | 423 | 56,423 |
| 59 | — | 17 | — | 20 | 21 | — | — | 59 | 19,278 |
| 965 | — | 106 | — | 780 | — | — | — | 965 | 105,815 |
| 865 | — | 80 | — | 785 | — | — | — | 865 | 79,990 |
| 19 | — | 3 | — | 4 | 7 | — | 3 | 19 | 35,349 |
| 9 | — | — | — | 1 | 6 | — | 2 | 9 | 6,860 |
| 3 | — | — | — | 1 | — | — | — | 3 | 2,354 |
| 7 | — | 3 | — | 2 | 1 | — | 1 | 7 | 26,136 |
| 71 | — | 1 | — | 1 | 2 | 48 | — | 71 | 213,667 |
| 34 | — | 1 | — | — | — | 14 | — | 34 | 21,091 |
| 3 | — | — | — | 1 | 2 | — | — | 3 | 177,700 |
| 34 | — | — | — | — | — | 34 | — | 34 | 14,875 |
| 5 | — | — | — | — | 2 | — | 3 | 5 | 35,266 |
| 5 | — | — | — | — | 2 | — | 3 | 5 | 35,266 |
| 42,760 | — | 1,352 | 300 | 3,327 | 36,780 | 1 | — | 42,760 | 64,480 |
| 792 | — | 120 | 300 | 192 | 180 | — | — | 792 | 5,157 |
| 2,168 | — | 432 | — | 735 | — | 1 | — | 2,168 | 14,876 |
| 39,800 | — | 800 | — | 2,400 | 36,600 | — | — | 39,800 | 26,446 |

| 産 業 別 | 従業者 規模別 | 水 源 別 用 水 | | | | | 回 取 水 | |
|-----------------|------------|-----------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| | | 公 共 水 道 | | 地 表 水 | 伏 流 水 | 井 戸 水 | | そ の 他 |
| | | 工 業 用 水 | 上 水 道 | | | | | |
| 印刷出版及び 関連産業 | 計 | — | 61 | — | — | 110 | — | |
| | 30人~49人 | — | 22 | — | — | 4 | — | |
| | 50 ~ 99 | — | 4 | — | — | — | — | |
| | 100 ~ 199 | — | 35 | — | — | 106 | — | |
| 化 学 工 業 | 計 | — | 140 | 250 | — | 2,270 | — | |
| | 30人~49人 | — | — | 250 | — | — | — | |
| | 50 ~ 99 | — | — | — | — | 350 | — | |
| | 300 ~ 499 | — | 140 | — | — | 1,920 | — | |
| 石油及び石炭製品 製造業 | 計 | — | — | — | — | 12 | — | |
| | 30人~49人 | — | — | — | — | 1 | — | |
| | 50 ~ 99 | — | — | — | — | 11 | — | |
| 皮革及び皮革製品 製造業 | 計 | — | — | — | — | 540 | — | |
| | 30人~49人 | — | — | — | — | 270 | — | |
| | 50 ~ 99 | — | — | — | — | 270 | — | |
| 窯業及び土石製品 製造業 | 計 | — | 241 | 3,126 | 5 | 942 | — | 96,280 |
| | 30人~49人 | — | — | — | — | 130 | — | — |
| | 50 ~ 99 | — | 7 | — | — | 100 | — | — |
| | 100 ~ 199 | — | — | — | — | 318 | — | — |
| | 200 ~ 299 | — | — | 366 | — | 314 | — | — |
| | 300 ~ 499 | — | — | — | 5 | — | — | — |
| | 500 ~ 999 | — | 234 | 2,760 | — | 80 | — | 96,280 |
| 鉄 鋼 業 | 計 | — | 1,272 | — | — | 30 | 2,630 | 50 |
| | 30人~49人 | — | 2 | — | — | 14 | — | — |
| | 50 ~ 99 | — | — | — | — | 16 | — | — |
| | 1000 以上 | — | 1,270 | — | — | — | 2,630 | 50 |
| 非鉄金属製造業 | 計 | — | 163 | 4,620 | 544 | 2,964 | 12,901 | 13,542 |
| | 30人~49人 | — | 2 | — | — | — | — | — |
| | 200 ~ 299 | — | 92 | — | — | 30 | — | — |
| | 1000 以上 | — | 69 | 4,620 | 544 | 2,934 | 12,901 | 13,542 |

単位立方メートル/日

| 全計 | 海水 | 用途別用水量 (上段淡水、下段海水) | | | | | | 合計 (その他を 含む) | 事業所敷 地面積 |
|---------|----|--------------------|------|------------|------------|--------|------|--------------------|--------------------------------|
| | | ボイラー 用水 | 原料用水 | 製品処理 用水 | 洗じよう 用水 | 冷却用水 | 温調用水 | | |
| 171 | — | — | 10 | 3 | 54 | 91 | — | 171 | 5,180 ^{m²} |
| 26 | — | — | — | 1 | 24 | 1 | — | 26 | 3,481 |
| 4 | — | — | — | 2 | 2 | — | — | 4 | 790 |
| 141 | — | — | 10 | — | 28 | 90 | — | 141 | 909 |
| 2,660 | — | 142 | — | 2 | 396 | 1,699 | 421 | 2,660 | 127,458 |
| 250 | — | — | — | — | — | 250 | — | 250 | 8,489 |
| 350 | — | 102 | — | 2 | 236 | 9 | 1 | 350 | 15,772 |
| 2,060 | — | 40 | — | — | 160 | 1,440 | 420 | 2,060 | 103,196 |
| 12 | — | 4 | — | 4 | — | — | — | 12 | 27,170 |
| 1 | — | — | — | 1 | — | — | — | 1 | 1,983 |
| 11 | — | 4 | — | 3 | — | — | — | 11 | 25,187 |
| 540 | — | 194 | — | 46 | 300 | — | — | 540 | 35,673 |
| 270 | — | 97 | — | 23 | 150 | — | — | 270 | 9,917 |
| 270 | — | 97 | — | 23 | 150 | — | — | 270 | 25,755 |
| 100,594 | — | 79 | 44 | 447 | 509 | 99,325 | — | 100,594 | 453,562 |
| 130 | — | — | — | 21 | 109 | — | — | 130 | 61,270 |
| 107 | — | 2 | 27 | 7 | 55 | 16 | — | 107 | 82,209 |
| 318 | — | 10 | 1 | 148 | 159 | — | — | 318 | 107,250 |
| 680 | — | 17 | 16 | 271 | 183 | 187 | — | 680 | 91,505 |
| 5 | — | — | — | — | 3 | 2 | — | 5 | 29,354 |
| 99,354 | — | 50 | — | — | — | 99,120 | — | 99,354 | 81,974 |
| 3,982 | — | 10 | — | 43 | 45 | 3,758 | — | 3,982 | 1,175,546 |
| 16 | — | — | — | 13 | 1 | 1 | — | 16 | 5,782 |
| 16 | — | — | — | 5 | 4 | 7 | — | 16 | 3,124 |
| 3,950 | — | 10 | — | 25 | 40 | 3,750 | — | 3,950 | 1,166,640 |
| 34,734 | — | 483 | 532 | 7,097 | 3,959 | 22,542 | 106 | 34,734 | 1,035,942 |
| 2 | — | — | — | 1 | 1 | — | — | 2 | 489 |
| 122 | — | 13 | — | 8 | 35 | 45 | 6 | 122 | 2,483 |
| 34,610 | — | 470 | 532 | 7,088 | 3,923 | 22,497 | 100 | 34,610 | 1,032,970 |

| 産 業 別 | 従 業 者 規 模 別 | 水 源 別 用 水 | | | | | | |
|------------|----------------|-----------|-------|--------|-------|-------|-------|---------|
| | | 公 共 水 道 | | 地 表 水 | 伏 流 水 | 井 戸 水 | そ の 他 | 回 収 水 |
| | | 工 業 用 水 | 上 水 道 | | | | | |
| 金属製品製造業 | 計 | — | 18 | — | — | 134 | — | — |
| | 30人～49人 | — | 5 | — | — | 46 | — | — |
| | 50～99 | — | 13 | — | — | 86 | — | — |
| | 100～199 | — | — | — | — | 2 | — | — |
| 機械製造業 | 計 | — | 642 | — | — | 1,022 | — | — |
| | 30人～49人 | — | 12 | — | — | 571 | — | — |
| | 50～99 | — | 7 | — | — | 231 | — | — |
| | 100～199 | — | — | — | — | 220 | — | — |
| 電気機械器具製造業 | 計 | 13 | 222 | 15,110 | — | 2,890 | — | 142,790 |
| | 30人～49人 | 13 | 166 | — | — | 53 | — | — |
| | 50～99 | — | 33 | — | — | 353 | — | — |
| | 100～199 | — | 1 | — | — | 5 | — | — |
| | 200～299 | — | 7 | — | — | 11 | — | — |
| | 300～499 | — | 15 | — | — | — | — | — |
| | 500～999 | — | — | — | — | 118 | — | — |
| | 1000以上 | — | — | 15,110 | — | 2,350 | — | 142,790 |
| 輸送用機械器具製造業 | 計 | — | — | — | — | 186 | — | — |
| | 30人～49人 | — | — | — | — | 3 | — | — |
| | 50～99 | — | — | — | — | 21 | — | — |
| 精密機械器具製造業 | 計 | — | — | — | — | 31 | — | — |
| | 30人～49人 | — | — | — | — | 15 | — | — |
| | 100～199 | — | — | — | — | 16 | — | — |
| その他の製造業 | 計 | — | 2 | — | — | 341 | 1 | — |
| | 30人～49人 | — | 1 | — | — | 13 | 1 | — |
| | 50～99 | — | 1 | — | — | 45 | — | — |
| | 100～199 | — | — | — | — | 283 | — | — |

単位立方メートル/日

| 量 | | 用途別用水量 (上段淡水、下段海水) | | | | | | | 合計 (その他を 含む) | 事業所敷 地面積 |
|---------|----|--------------------|------|------------|------------|---------|------|---------|--------------------|-------------|
| 合計 | 海水 | ボイラー 用水 | 原料用水 | 製品処理 用水 | 洗じよう 用水 | 冷却用水 | 温調用水 | | | |
| 152 | — | 1 | — | 88 | 43 | 10 | 5 | 152 | 45,693 | |
| 51 | — | — | — | — | 37 | 4 | 5 | 51 | 18,046 | |
| 99 | — | 1 | — | 86 | 6 | 6 | — | 99 | 25,408 | |
| 2 | — | — | — | 2 | — | — | — | 2 | 2,238 | |
| 1,664 | — | 296 | 60 | 886 | 37 | 162 | 3 | 1,664 | 425,691 | |
| 583 | — | 3 | — | 409 | 13 | 6 | 3 | 583 | 33,951 | |
| 238 | — | 43 | — | 117 | 24 | 6 | — | 238 | 109,647 | |
| 220 | — | 70 | — | — | — | 150 | — | 220 | 149,862 | |
| 623 | — | 180 | 60 | 360 | — | — | — | 623 | 132,232 | |
| 161,025 | — | 1,339 | 814 | 50,859 | 3,685 | 101,374 | 732 | 161,025 | 1,385,537 | |
| 232 | — | — | 13 | 27 | 42 | 6 | — | 232 | 16,701 | |
| 386 | — | 3 | 1 | 29 | 188 | 130 | 12 | 386 | 44,800 | |
| 6 | — | — | — | 1 | 4 | — | — | 6 | 12,959 | |
| 18 | — | — | — | 2 | 12 | 4 | — | 18 | 12,169 | |
| 15 | — | — | — | — | — | — | — | 15 | 11,569 | |
| 118 | — | — | — | — | 39 | 30 | 20 | 118 | 14,003 | |
| 160,250 | — | 1,336 | 800 | 50,800 | 3,400 | 101,204 | 700 | 160,250 | 1,273,335 | |
| 186 | — | 2 | 15 | 1 | 119 | 43 | 5 | 186 | 255,833 | |
| 3 | — | — | — | 1 | 1 | 1 | — | 3 | 4,251 | |
| 21 | — | 2 | 4 | — | 2 | 12 | — | 21 | 12,932 | |
| 162 | — | — | 11 | — | 116 | 30 | 5 | 162 | 238,649 | |
| 31 | — | 5 | — | 11 | 14 | — | — | 31 | 12,043 | |
| 15 | — | — | — | 7 | 8 | — | — | 15 | 4,139 | |
| 16 | — | 5 | — | 4 | 6 | — | — | 16 | 7,904 | |
| 344 | — | — | — | 11 | 40 | 284 | — | 344 | 90,529 | |
| 15 | — | — | — | 10 | 1 | 1 | — | 15 | 9,851 | |
| 46 | — | — | — | 1 | 39 | 3 | — | 46 | 24,979 | |
| 283 | — | — | — | — | — | 280 | — | 283 | 55,699 | |



昭和34年度

学校施設調査の概況

学校基本調査(指定統計13号)の一環として、文部省主管のもとに5月1日現在をもつて実施された学校施設調査の概況は次のとおりである。

ただし、国立の学校については文部省が直接調査にあたるため、概況は省略した。また私立小学校(これに該当するのは日立市の日本三育学院だけ)も、他県に本部事務所があり、これの所在する県から文部省へ申告する関係上、国立の学校同様概況説明から一応除外したからこの点御了知願いたい。

なお、表中に「本来の学校建物」とあるのは、設置者の所有、借用にかかわらず、その建物が学校用として使用する目的で建築され、あるいは買収などにより取得されたもの、または学校以外の目的で建築されたものでも恒久的に学校用として使用することに使用目的を変更したのもも調査の対象とした。

まず各種学校以外の学校についてみると、本来の学校建物の面積は第1表学校施設総括表に示すとおり、総坪数566,075坪で前年度の551,133坪に比し、14,942坪(2.7%)の増加をしている。この増加の内訳は高等学校の7,520坪をはじめ、小学校6,253坪、中学校858坪、幼稚園の275坪、ろう学校62坪で盲学校のみわずかに27坪の減少したに過ぎず、増加の点で公立の学校が特に目立っており、公立小学校および高等学校はいずれも6,000坪以上増加していることである。学校建物を学校種別にみると、小学校の306,728坪をはじめ、中学校155,274坪、高等学校96,487坪、幼稚園5,263坪、ろう学校1,415坪、盲学校908坪の順で、小学校が全体の(54.2%)で過半数を占めていることがわかる。

所有者別にみると市町村立および組合立が466,630坪で、総坪数の(82.4%)を占めており、次に県有86,378坪(15.3%)、私有11,663坪(2.1%)、国有の1,404坪(0.2%)となつている。

以上のうち特に国有の建物が1,404坪計上されているが、これは県南の私立学校で土浦女子高等学校(149坪)霞ヶ浦高等学校(1,255坪)の2校で使用されているものである。

更に構造別にみると、木造が544,926坪で総坪数の(96.2%)で大部分を占めており、次が鉄筋コンクリート造り19,025坪(3.4%)、その他(コンクリートブロック造、レンガ造または鉄骨造等)は2,124坪(0.4%)の

順となつている。

鉄筋コンクリート造を学校種別にみると、高等学校の7,171坪をはじめ中学校6,193坪、小学校5,093坪等が主なるもので、ろう学校だけが皆無である。

その他は高等学校1,211坪、中学校838坪が主なるものである。木造はさておき、鉄筋コンクリート造については前年度の12,379坪に比し6,646坪(53.7%)、その他の造は前年度1,341坪に比し783坪(58.4%)といずれも大巾に増加しており、今後の学校建築が木造以外の建築に移行してゆく傾向が見受けられる。

次に学校建物を実際の使用状況からみると総面積565,836坪で、その内訳は小学校306,568坪をはじめ、中学校155,274坪、高等学校96,428坪、幼稚園5,243坪、ろう学校1,415坪、盲学校908坪の順である。なお学校施設以外に使用している部分は239坪あるが、これの内訳は公立小学校で160坪、公立高等学校59坪、私立幼稚園20坪である。

このほか臨時に仮校舎として使用しているものが公立小学校で45坪となつている。

本来の学校土地の面積は4,533,052坪で、前年度の4,465,151坪に比し67,901坪(1.5%)増加している。この増加は高等学校の37,254坪をはじめ、小学校20,951坪、中学校5,972坪、幼稚園3,724坪となつており、盲学校とろう学校は前年度と同様である。

次に学校土地を実際の使用状況からみると4,525,194坪で、その内訳は小学校1,806,678坪をはじめ中学校1,771,498坪、高等学校904,442坪、幼稚園26,789坪、ろう学校9,669坪、盲学校6,118坪の順となつている。学校施設以外に使用している土地は7,858坪で、小学校5,477坪、中学校1,195坪、高等学校958坪、幼稚園228坪で盲学校、ろう学校は該当しない。

学校林は総面積1,116,409坪であるが、そのうち中学校842,778坪で最も多く、次に小学校150,908坪、高等学校122,723坪となつているが、幼稚園、盲学校、ろう学校には学校林の所有はない。

各種学校についてみると学校建物は総面積23,833坪で、これを公立、私立別にみると公立275坪、私立23,558坪で、公立は私立に比し極めて少ないのは、学校数218校のうち公立学校はわずか2校に過ぎないためである。前年度の建物面積22,944坪に比し、889坪(3.9%)増加して

いる。次に実際の使用状況からみれば、22,969坪で前年度21,588坪に比し1,381坪(6.4%)増加している。なお学校施設以外に使用している部分が864坪となっている。

学校建物を所有者別にみると、23,833坪のうち私有23,401坪(98.2%)で大部分を占めており、県有336坪(1.4%)、市町村有96坪(0.4%)となっている。また構造別にみると木造23,321坪(97.9%)が大部分で、鉄筋コンクリート388坪(1.6%)、その他124坪(0.5%)となつて

いる。

次に学校土地については総面積409,590坪で、公立、私立別にみると、公立414坪、私立409,176坪となつている。前年度総面積409,437坪に比し153坪とわずかに増加しており、実際の使用状況からみれば405,559坪で前年度404,791坪に比し768坪(0.2%)増加している。学校林については総面積40,975坪となつているが、これは東茨城郡内原村の日本高等国民学校の1校だけの所有となつている。

第1表 学校施設総括表

(イ) 本来の学校建物の面積(単位坪)

| 設置者別 | 学校種別 | 総括 | 幼稚園 | 小学校 | 中学校 | 高等学校 | 盲学校 | ろう学校 |
|------|------|---------------------|-------|---------|---------|--------|-----|-------|
| 総数 | | (23,833) 566,075 | 5,263 | 306,728 | 155,274 | 96,487 | 908 | 1,415 |
| 公立 | | (275) 553,899 | 2,386 | 306,728 | 154,965 | 87,497 | 908 | 1,415 |
| 私立 | | (23,558) 12,176 | 2,877 | — | 309 | 8,990 | — | — |

(ロ) 本来の学校土地面積(単位坪)

| | | | | | | | | |
|----|--|------------------------|--------|-----------|-----------|---------|-------|-------|
| 総数 | | (409,590) 4,533,052 | 27,017 | 1,812,155 | 1,772,693 | 905,400 | 6,118 | 9,669 |
| 公立 | | (414) 4,460,344 | 10,863 | 1,812,155 | 1,771,476 | 850,063 | 6,118 | 9,669 |
| 私立 | | (409,176) 72,708 | 16,154 | — | 1,217 | 55,337 | — | — |

(注) 各表中カッコ内の数は、各種学校の分を外書にて表わした。
なお(ロ)本来の学校土地面積は学校林を除外した数である。

第2表 建物所有者別坪数

| 区分 | 国 | 県 | 市町村および 組合有 | 私 | 合 | 計 |
|------|----|-------|---------------|---------|--------|---------|
| 総数 | 計 | 1,404 | 86,378 | 466,630 | 11,663 | 566,075 |
| | 公立 | — | 86,378 | 466,630 | 891 | 553,899 |
| 幼稚園 | 計 | — | — | 2,284 | 2,979 | 5,263 |
| | 公立 | — | — | 2,284 | 102 | 2,386 |
| 小学校 | 計 | — | — | 306,728 | — | 306,728 |
| | 公立 | — | — | 306,728 | — | 306,728 |
| 中学校 | 計 | — | — | 154,965 | 309 | 155,274 |
| | 公立 | — | — | 154,965 | — | 154,965 |
| 高等学校 | 計 | 1,404 | 84,055 | 2,653 | 8,375 | 96,487 |
| | 公立 | — | 84,055 | 2,653 | 789 | 87,497 |
| 盲学校 | 計 | — | 908 | — | — | 908 |
| | 公立 | — | 908 | — | — | 908 |
| ろう学校 | 計 | — | 1,415 | — | — | 1,415 |
| | 公立 | — | 1,415 | — | — | 1,415 |
| 各種学校 | 計 | — | 336 | 96 | 23,401 | 23,833 |
| | 公立 | — | 275 | — | — | 275 |
| | 私立 | — | 61 | 96 | 23,401 | 23,558 |

(注) 県有は県立学校が、市町村および組合有は市町村および組合立の学校が、私有は私立学校が所有しているもの、あるいは、他の法人または個人からの借用をいう。

第3表 建物構造別坪数

(イ)

| 区 分 | 木 | 造 | 鉄筋コンクリート 造 | そ の 他 | 合 計 |
|------|----|---------|---------------|-------|---------|
| 総 数 | 計 | 544,926 | 19,025 | 2,124 | 566,075 |
| | 公立 | 533,950 | 17,827 | 2,122 | 553,899 |
| | 私立 | 10,976 | 1,198 | 2 | 12,176 |
| 幼稚園 | 計 | 5,207 | 54 | 2 | 5,263 |
| | 公立 | 2,386 | — | — | 2,386 |
| | 私立 | 2,821 | 54 | 2 | 2,877 |
| 小学校 | 計 | 301,562 | 5,093 | 73 | 306,728 |
| | 公立 | 301,562 | 5,093 | 73 | 306,728 |
| | 私立 | — | — | — | — |
| 中学校 | 計 | 148,243 | 6,193 | 838 | 155,274 |
| | 公立 | 148,008 | 6,119 | 838 | 154,965 |
| | 私立 | 235 | 74 | — | 309 |
| 高等学校 | 計 | 88,105 | 7,171 | 1,211 | 96,487 |
| | 公立 | 80,185 | 6,101 | 1,211 | 87,497 |
| | 私立 | 7,920 | 1,070 | — | 8,990 |
| 盲学校 | 計 | 394 | 514 | — | 908 |
| | 公立 | 394 | 514 | — | 908 |
| | 私立 | — | — | — | — |
| ろう学校 | 計 | 1,415 | — | — | 1,415 |
| | 公立 | 1,415 | — | — | 1,415 |
| | 私立 | — | — | — | — |
| (ロ) | | | | | |
| 各種学校 | 計 | 23,321 | 388 | 124 | 23,833 |
| | 公立 | 170 | 105 | — | 275 |
| | 私立 | 23,151 | 283 | 124 | 23,558 |

第4表 本来の学校建物の用途別面積 (単位坪)

(イ)

| 区 分 | 学校施設として使用している部分 | | | | | | | | 学校施設 以外に使用 している部分 | 合 計 | |
|------|-----------------|--------------|------------|---------|---------------------|--------|-------|-------|-------------------------|-----|---------|
| | 校 舎 | | | | 講 堂 屋 内 運 動 場 | 寄 宿 舎 | 職 員 宅 | 計 | | | |
| | 教 室 | 実 験 実 習 室 | 管 理 関 係 | 小 計 | | | | | | | |
| 総 数 | 計 | 244,161 | 31,832 | 257,117 | 533,110 | 23,699 | 2,270 | 6,757 | 565,836 | 239 | 566,075 |
| | 公立 | 238,697 | 31,265 | 252,795 | 522,757 | 22,560 | 1,919 | 6,444 | 553,680 | 219 | 553,899 |
| | 私立 | 5,464 | 567 | 4,322 | 10,353 | 1,139 | 351 | 313 | 12,156 | 20 | 12,176 |
| 幼稚園 | 計 | 3,017 | — | 1,830 | 4,847 | 267 | — | 129 | 5,243 | 20 | 5,263 |
| | 公立 | 1,332 | — | 922 | 2,254 | 132 | — | — | 2,386 | — | 2,386 |
| | 私立 | 1,685 | — | 908 | 2,593 | 135 | — | 129 | 2,857 | 20 | 2,877 |
| 小学校 | 計 | 148,102 | 6,515 | 142,342 | 296,959 | 5,345 | — | 4,264 | 306,568 | 160 | 306,728 |
| | 公立 | 148,102 | 6,515 | 142,342 | 296,959 | 5,345 | — | 4,264 | 306,568 | 160 | 306,728 |
| | 私立 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 中学校 | 計 | 66,120 | 10,939 | 73,207 | 150,266 | 3,709 | 9 | 1,290 | 155,274 | — | 155,274 |
| | 公立 | 65,971 | 10,939 | 73,093 | 150,003 | 3,663 | 9 | 1,290 | 154,965 | — | 154,965 |
| | 私立 | 149 | — | 114 | 263 | 46 | — | — | 309 | — | 309 |
| 高等学校 | 計 | 26,372 | 14,272 | 39,112 | 79,756 | 14,349 | 1,352 | 971 | 96,428 | 59 | 96,487 |
| | 公立 | 22,742 | 13,705 | 35,812 | 72,259 | 13,391 | 1,001 | 787 | 87,438 | 59 | 87,497 |
| | 私立 | 3,630 | 567 | 3,300 | 7,497 | 958 | 351 | 184 | 8,990 | — | 8,990 |
| 盲学校 | 計 | 187 | 80 | 173 | 440 | 29 | 362 | 77 | 908 | — | 908 |
| | 公立 | 187 | 80 | 173 | 440 | 29 | 362 | 77 | 908 | — | 908 |
| | 私立 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| ろう学校 | 計 | 363 | 26 | 453 | 842 | — | 547 | 26 | 1,415 | — | 1,415 |
| | 公立 | 363 | 26 | 453 | 842 | — | 547 | 26 | 1,415 | — | 1,415 |
| | 私立 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| (ロ) | | | | | | | | | | | |
| 各種学校 | 計 | 7,442 | 1,555 | 6,560 | 15,557 | 527 | 4,853 | 2,032 | 22,969 | 864 | 23,833 |
| | 公立 | 44 | 29 | 83 | 156 | — | 119 | — | 275 | — | 275 |
| | 私立 | 7,398 | 1,526 | 6,477 | 15,401 | 527 | 4,734 | 2,032 | 22,694 | 864 | 23,558 |

第5表 本来の学校土地の用途別面積 (単位、坪)

(イ)

| 区 分 | 屋外運動場 | 実験実習地 | 校舎敷地 その他 | 計 | 学校施設以 外に使用し ている部分 | 合 計 | 学 校 林 | |
|---------|-------|-----------|-------------|-----------|-------------------------|-------|-----------|-----------|
| 総 数 | 計 | 2,621,139 | 454,405 | 1,449,650 | 4,525,194 | 7,858 | 4,533,052 | 1,160,409 |
| | 公立 | 2,583,096 | 452,405 | 1,417,213 | 4,452,714 | 7,630 | 4,460,344 | 1,114,179 |
| | 私立 | 38,043 | 2,000 | 32,437 | 72,480 | 228 | 72,708 | 2,230 |
| 幼 稚 園 | 計 | 19,386 | — | 7,403 | 26,789 | 228 | 27,017 | — |
| | 公立 | 7,426 | — | 3,437 | 10,863 | — | 10,863 | — |
| | 私立 | 11,960 | — | 3,966 | 15,926 | 228 | 16,154 | — |
| 小 学 校 | 計 | 1,130,032 | 28,680 | 647,966 | 1,806,678 | 5,477 | 1,812,155 | 150,908 |
| | 公立 | 1,130,032 | 28,680 | 647,966 | 1,806,678 | 5,477 | 1,812,155 | 150,908 |
| | 私立 | — | — | — | — | — | — | — |
| 中 学 校 | 計 | 1,154,020 | 185,296 | 432,182 | 1,771,498 | 1,195 | 1,772,693 | 842,778 |
| | 公立 | 1,153,185 | 185,296 | 431,800 | 1,770,281 | 1,195 | 1,771,496 | 842,778 |
| | 私立 | 835 | — | 382 | 1,217 | — | 1,217 | — |
| 高 等 学 校 | 計 | 313,055 | 239,295 | 352,092 | 904,442 | 958 | 905,400 | 122,723 |
| | 公立 | 287,807 | 237,295 | 324,003 | 849,105 | 958 | 850,063 | 120,493 |
| | 私立 | 25,248 | 2,000 | 28,089 | 55,337 | — | 55,337 | 2,230 |
| 盲 学 校 | 計 | 2,000 | — | 4,118 | 6,118 | — | 6,118 | — |
| | 公立 | 2,000 | — | 4,118 | 6,118 | — | 6,118 | — |
| | 私立 | — | — | — | — | — | — | — |
| ろ う 学 校 | 計 | 2,646 | 1,134 | 5,889 | 9,669 | — | 9,669 | — |
| | 公立 | 2,646 | 1,134 | 5,889 | 9,669 | — | 9,669 | — |
| | 私立 | — | — | — | — | — | — | — |
| (ロ) | | | | | | | | |
| 各 種 学 校 | 計 | 20,643 | 282,780 | 102,136 | 405,559 | 4,031 | 409,590 | 40,975 |
| | 公立 | — | — | 414 | 414 | — | 414 | — |
| | 私立 | 20,643 | 282,780 | 101,722 | 405,145 | 4,031 | 409,176 | 40,975 |



毎月人口世帯異動調査結果

(昭和34年9月分)

人口統計係

1. 世帯異動状況

| | 前月末 | 増 | | 加 | | 減 | | 少 | | 本月末 |
|---------|---------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|---------|
| | | 入 | | その他 | 計 | 出 | | その他 | 計 | |
| | | 県外から | 県内から | | | 県外へ | 県内へ | | | |
| 世帯数 | 392,851 | 272 | 499 | 86 | 857 | 267 | 356 | 27 | 650 | 393,058 |
| 前月との増減比 | — | 92.2 | 102.5 | 162.6 | 102.6 | 88.1 | 85.6 | 207.6 | 88.8 | 100.05 |

2. 人口異動状況

| | 前月末 | 増 | | 加 | | 減 | | 少 | | 本月末 | | |
|---------|-----------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----------|
| | | 出生 | 入 | | その他 | 計 | 死亡 | 出 | | | その他 | 計 |
| | | | 県外から | 県内から | | | | 県外へ | 県内へ | | | |
| 計 | 2,077,320 | 2,578 | 2,760 | 4,053 | 188 | 9,579 | 1,092 | 3,604 | 4,025 | 85 | 8,806 | 2,078,093 |
| 男 | 1,011,192 | 1,354 | 1,584 | 1,932 | 141 | 5,011 | 584 | 1,990 | 1,930 | 79 | 4,583 | 1,011,620 |
| 女 | 1,066,128 | 1,224 | 1,176 | 2,121 | 47 | 4,568 | 508 | 1,614 | 2,095 | 6 | 4,223 | 1,066,473 |
| 前月との増減比 | — | 97.9 | 109.0 | 116.6 | 89.9 | 108.2 | 98.8 | 89.8 | 109.8 | 38.6 | 97.8 | 100.03 |

前月=100

3. 県外からの転入者内訳

| 従前の居住地 | 転入者数 | 割合 |
|--------|-------|--------|
| 合計 | 2,760 | 100.0% |
| 東京都 | 1,291 | 46.8 |
| 埼玉県 | 106 | 3.8 |
| 神奈川県 | 180 | 6.5 |
| 千葉県 | 140 | 5.1 |
| 栃木県 | 165 | 5.9 |
| 群馬県 | 38 | 1.4 |
| 福島県 | 363 | 13.2 |
| その他の府県 | 477 | 17.3 |

4. 県外転出者内訳

| 転出先の居住地 | 転出者数 | 割合 |
|---------|-------|--------|
| 合計 | 3,604 | 100.0% |
| 東京都 | 2,080 | 57.7 |
| 埼玉県 | 191 | 5.3 |
| 神奈川県 | 325 | 9.0 |
| 千葉県 | 172 | 4.8 |
| 栃木県 | 119 | 3.3 |
| 群馬県 | 51 | 1.4 |
| 福島県 | 154 | 4.3 |
| その他の府県 | 512 | 14.2 |

5. 市町村別世帯数および人口(月末現在)

| 市町村名 | 世帯数 | 人口 | | | 市町村名 | 世帯数 | 人口 | | |
|------|---------|---------|---------|---------|------|--------|--------|--------|--------|
| | | 計 | 男 | 女 | | | 計 | 男 | 女 |
| 市計 | 177,311 | 872,444 | 426,538 | 445,906 | 竜ヶ崎市 | 6,657 | 34,004 | 16,434 | 17,570 |
| | | | | | 那珂湊市 | 6,929 | 34,122 | 16,063 | 18,059 |
| 水戸市 | 29,084 | 134,576 | 64,920 | 69,656 | 下妻市 | 5,585 | 31,389 | 15,025 | 16,364 |
| 日立市 | 31,245 | 150,091 | 76,207 | 73,884 | 水海道市 | 7,304 | 38,927 | 18,730 | 20,197 |
| 土浦市 | 16,124 | 72,076 | 34,894 | 37,182 | 常陸市 | 7,709 | 38,880 | 18,899 | 19,981 |
| 古河市 | 9,096 | 41,716 | 19,814 | 21,902 | 勝田市 | 7,863 | 38,921 | 19,277 | 19,644 |
| 石岡市 | 7,313 | 36,684 | 17,591 | 19,093 | 高萩市 | 6,988 | 33,069 | 16,438 | 16,631 |
| 下館市 | 9,639 | 52,244 | 25,329 | 26,915 | 北茨城市 | 12,477 | 63,426 | 32,145 | 31,281 |
| 結城市 | 6,980 | 39,026 | 18,754 | 20,272 | 笠間市 | 6,318 | 33,293 | 16,018 | 17,275 |

| 市町村名 | 世帯数 | 人 | | | 市町村名 | 世帯数 | 人 | | |
|--------------|---------|-----------|---------|---------|--------------|--------|---------|--------|--------|
| | | 計 | 男 | 女 | | | 計 | 男 | 女 |
| 郡 計 | 215,747 | 1,205,649 | 585,082 | 620,567 | 稲 敷 郡 | 21,082 | 114,243 | 55,432 | 58,811 |
| 東茨城郡 | 25,709 | 138,717 | 67,205 | 71,512 | 江戸崎町 | 2,521 | 13,340 | 6,381 | 6,959 |
| 常澄村 | 1,730 | 10,326 | 5,063 | 5,263 | 美浦村 | 1,713 | 9,546 | 4,594 | 4,952 |
| 茨城町 | 5,524 | 31,489 | 15,410 | 16,079 | 阿見町 | 4,320 | 21,737 | 10,749 | 10,988 |
| 小川町 | 2,941 | 16,332 | 7,858 | 8,474 | 牛久保町 | 3,083 | 16,165 | 7,968 | 8,197 |
| 小野町 | 2,694 | 15,080 | 7,360 | 7,720 | 荖崎村 | 1,083 | 6,502 | 3,234 | 3,268 |
| 内原村 | 2,267 | 13,387 | 6,779 | 6,608 | 新利根村 | 1,811 | 9,786 | 4,695 | 5,091 |
| 常北町 | 2,383 | 12,384 | 5,996 | 6,388 | 河内村 | 2,373 | 13,673 | 6,638 | 7,035 |
| 桂村 | 1,845 | 9,494 | 4,555 | 4,939 | 桜川村 | 1,674 | 9,182 | 4,310 | 4,872 |
| 御前山村 | 1,457 | 7,724 | 3,658 | 4,066 | 東村 | 2,504 | 14,312 | 6,863 | 7,449 |
| 大洗町 | 4,868 | 22,501 | 10,526 | 11,975 | 新 治 郡 | 15,730 | 87,424 | 42,855 | 44,569 |
| 西茨城郡 | 11,061 | 62,060 | 30,130 | 31,930 | 出島村 | 3,495 | 19,166 | 9,444 | 9,722 |
| 友部町 | 3,483 | 19,385 | 9,575 | 9,810 | 玉里町 | 977 | 5,329 | 2,631 | 2,698 |
| 岩間町 | 2,487 | 14,448 | 6,957 | 7,491 | 八千代町 | 5,701 | 32,547 | 15,861 | 16,686 |
| 七会村 | 731 | 4,232 | 2,049 | 2,183 | 千代田村 | 2,090 | 12,046 | 5,918 | 6,128 |
| 岩瀬町 | 4,360 | 23,995 | 11,549 | 12,446 | 新治村 | 1,643 | 8,932 | 4,403 | 4,529 |
| 那 珂 郡 | 19,918 | 107,827 | 52,866 | 54,961 | 新桜村 | 1,824 | 9,404 | 4,598 | 4,806 |
| 東海村 | 2,108 | 12,825 | 6,521 | 6,304 | 筑 波 郡 | 17,163 | 94,399 | 45,992 | 48,407 |
| 那珂町 | 5,875 | 31,187 | 15,301 | 15,886 | 谷田部町 | 3,977 | 21,504 | 10,631 | 10,873 |
| 瓜連町 | 1,407 | 7,146 | 3,475 | 3,671 | 伊奈村 | 2,116 | 12,346 | 5,971 | 6,375 |
| 大山方町 | 4,881 | 25,575 | 12,417 | 13,158 | 谷和原村 | 1,994 | 11,306 | 5,419 | 5,887 |
| 美和村 | 2,558 | 13,716 | 6,698 | 7,018 | 谷里町 | 2,158 | 11,838 | 5,845 | 5,993 |
| 緒川村 | 1,530 | 8,865 | 4,326 | 4,539 | 筑波町 | 4,722 | 25,328 | 12,274 | 13,054 |
| | 1,559 | 8,513 | 4,128 | 4,385 | 大穂町 | 2,196 | 12,077 | 5,852 | 6,225 |
| 久 慈 郡 | 14,301 | 77,804 | 37,555 | 40,249 | 真 壁 郡 | 13,824 | 80,089 | 38,732 | 41,357 |
| 金砂郷村 | 2,791 | 15,464 | 7,408 | 8,056 | 関城町 | 2,630 | 15,494 | 7,532 | 7,962 |
| 水府村 | 2,316 | 12,126 | 5,853 | 6,273 | 明野町 | 3,074 | 18,254 | 8,855 | 9,399 |
| 里美村 | 1,434 | 8,111 | 3,887 | 4,224 | 真壁町 | 4,186 | 22,912 | 10,919 | 11,993 |
| 大子町 | 7,760 | 42,103 | 20,407 | 21,696 | 大和村 | 1,407 | 8,531 | 4,140 | 4,391 |
| 多 賀 郡 | 2,321 | 11,219 | 5,534 | 5,685 | 大協村 | 2,527 | 14,898 | 7,286 | 7,612 |
| 十王町 | 2,321 | 11,219 | 5,534 | 5,685 | 結 城 郡 | 9,360 | 55,219 | 26,761 | 28,458 |
| 鹿 島 郡 | 20,913 | 121,513 | 58,760 | 62,753 | 八千代村 | 4,231 | 25,786 | 12,584 | 13,202 |
| 旭村 | 1,983 | 11,999 | 5,824 | 6,175 | 千代川村 | 1,602 | 8,996 | 4,348 | 4,648 |
| 鉾田町 | 5,284 | 29,470 | 14,296 | 15,174 | 石下町 | 3,527 | 20,437 | 9,829 | 10,608 |
| 大野村 | 1,862 | 10,892 | 5,245 | 5,647 | 猿 島 郡 | 20,589 | 124,689 | 60,262 | 64,427 |
| 大野村 | 1,809 | 11,165 | 5,399 | 5,766 | 総和村 | 3,347 | 20,500 | 9,972 | 10,528 |
| 鹿嶋町 | 2,792 | 16,276 | 7,824 | 8,452 | 五三村 | 1,500 | 9,652 | 4,731 | 4,921 |
| 神栖村 | 2,862 | 16,806 | 8,047 | 8,759 | 三和村 | 3,264 | 20,487 | 9,851 | 10,636 |
| 波崎町 | 4,321 | 24,905 | 12,125 | 12,780 | 猿島町 | 2,509 | 15,662 | 7,549 | 8,113 |
| 行 方 郡 | 12,987 | 74,104 | 35,650 | 38,454 | 三井町 | 5,906 | 34,851 | 16,947 | 17,904 |
| 麻生町 | 3,603 | 21,023 | 10,200 | 10,823 | 猿岩境町 | 4,063 | 23,537 | 11,212 | 12,325 |
| 牛堀町 | 1,217 | 7,051 | 3,399 | 3,652 | 北相馬郡 | 10,789 | 56,342 | 27,348 | 28,994 |
| 潮北村 | 3,152 | 17,703 | 8,369 | 9,334 | 守谷町 | 2,155 | 11,877 | 5,771 | 6,106 |
| 玉造町 | 2,175 | 12,845 | 6,161 | 6,684 | 取手町 | 4,554 | 22,096 | 10,807 | 11,289 |
| | 2,840 | 15,482 | 7,521 | 7,961 | 藤利町 | 2,327 | 12,739 | 6,117 | 6,622 |
| | | | | | 根町 | 1,753 | 9,630 | 4,653 | 4,977 |

毎月勤労統計調査結果速報

(昭和34年8月分)

労働省大臣官房労働統計調査部

茨 城 県

— 結 果 の 概 況 —

労 働 統 計 係

1. 鉱業は期末手当の支給で激増

本月の1人当たり現金給与総額は調査産業総数18,451円で前月に比べ593円の減少である。この減少は特別給与の減少によるが、本月の特別給与は上半期賞与と一部業種の夏期手当などの支給によるものであるが、7月に支給された夏期手当に比べると391円の減少である。産業別に見ると増加の筆頭は鉱業の10,667円、次に繊維工業2,896円、食料品製造業1,537円の増加はいずれも上半期の賞与および夏期手当であり、その他の業種はすべて減少しているが、この原因は夏期手当等の打ち切りによるもので、これを前月に比較すると別表のとおりである。

| 産 業 別 | 現金給与額 | 対前月差 |
|----------------------|--------|---------|
| 総 数 | 18,451 | - 591 |
| D 鉱 業 | 27,108 | + 9,019 |
| F 製 造 業 | 16,902 | - 2,188 |
| 18 食 料 品 製 造 業 | 13,345 | - 584 |
| 20 織 維 工 業 | 10,863 | + 1,657 |
| 31 機 械 製 造 業 | 11,897 | - 121 |
| 35 電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 18,484 | + 251 |
| G 卸 売 及 び 小 売 業 | 13,263 | - 3,769 |
| H 金 融 及 び 保 険 業 | 19,826 | - 3,644 |
| J 運 輸 通 信 業 | 18,756 | - 956 |
| E 建 設 業 | 12,736 | - 2,680 |
| L 医 療 保 健 業 | 18,051 | - 2,224 |

2. 出勤日数および常用労働者の推移

本月の月間出勤日数は産業総数24.2日で前月に比べ0.1日の減少となっているが、所定外労働時間は各産業別とも0.1時間の増加のため休日の多い結果の影響である。常用労働者総数は545人の増加を示していることは製造業、金属製品業、機械製造業、電気機械製造業等は特に好調を示している。

第1表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現金給与額 (規模30人以上) (単位円)

| 産 業 別 | 現金給与総額 | | | きまつて支給する給与 | | | 特別に支払われた給与 | | | 臨時及び日雇労働者の1人平均現金給与額 |
|------------------------------|--------|--------|--------|------------|--------|--------|------------|--------|-------|---------------------|
| | 総額 | 男子 | 女子 | 総額 | 男子 | 女子 | 総額 | 男子 | 女子 | |
| 全 常 用 労 働 者 | | | | | | | | | | |
| 総 数 | 18,451 | 20,759 | 8,656 | 16,656 | 18,675 | 8,089 | 1,795 | 2,084 | 567 | 316 |
| D 鉱 業 | 27,108 | 28,405 | 11,274 | 16,441 | 17,202 | 7,154 | 10,667 | 11,203 | 4,120 | 377 |
| E 建 設 業 | 12,736 | 13,506 | 7,523 | 12,684 | 13,450 | 7,497 | 52 | 56 | 26 | 336 |
| F 製 造 業 | 16,902 | 19,349 | 8,117 | 16,437 | 18,893 | 7,621 | 465 | 456 | 496 | 244 |
| 18 食 料 品 | 13,345 | 18,104 | 6,095 | 11,808 | 16,063 | 5,325 | 1,537 | 2,041 | 770 | 210 |
| 20 織 維 工 業 | 10,863 | 20,604 | 8,377 | 7,967 | 15,519 | 6,039 | 2,896 | 5,085 | 2,338 | 316 |
| 21 衣 服 そ の 他 織 維 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 14,505 | 18,430 | 7,536 | 14,505 | 18,430 | 7,536 | — | — | — | 320 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 | 17,608 | 18,921 | 8,527 | 17,159 | 18,457 | 8,183 | 449 | 464 | 344 | 330 |
| 32 非 鉄 金 属 品 | 18,369 | 19,808 | 8,504 | 18,369 | 19,808 | 8,504 | — | — | — | — |
| 33 金 属 製 品 | 12,375 | 13,258 | 8,260 | 12,375 | 13,258 | 8,260 | — | — | — | 286 |
| 34 機 械 製 造 | 11,897 | 13,753 | 6,131 | 11,897 | 13,753 | 6,131 | — | — | — | 204 |
| 35 電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 18,484 | 20,447 | 8,511 | 18,318 | 20,371 | 8,493 | 66 | 76 | 18 | 222 |
| 19.38.39 そ の 他 | 14,320 | 18,289 | 9,731 | 13,672 | 17,339 | 9,433 | 648 | 950 | 298 | 318 |
| G 卸 売 及 び 小 売 業 | 13,263 | 15,844 | 6,961 | 13,263 | 15,844 | 6,961 | — | — | — | 244 |
| H 金 融 保 険 業 | 19,826 | 24,083 | 11,915 | 19,810 | 24,060 | 11,913 | 16 | 23 | 2 | — |
| J 運 輸 通 信 業 | 18,756 | 20,213 | 10,333 | 18,722 | 20,179 | 10,333 | 34 | 34 | — | 294 |
| K 電 気 ガ ス 、 水 道 業 | 28,102 | 29,090 | 17,540 | 28,102 | 29,090 | 17,540 | — | — | — | 507 |
| L 医 療 保 健 業 | 18,051 | 24,596 | 13,562 | 17,898 | 24,472 | 13,389 | 153 | 124 | 173 | 248 |
| 生 産 労 働 者 | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 25,828 | 26,648 | 11,230 | 16,225 | 16,771 | 6,511 | 9,603 | 9,877 | 4,719 | — |
| E 建 設 業 | 10,702 | 11,389 | 6,713 | 10,690 | 11,377 | 6,698 | 12 | 12 | 15 | — |
| F 製 造 業 | 14,197 | 16,150 | 7,693 | 13,749 | 15,744 | 7,105 | 448 | 406 | 588 | — |
| 18 食 料 品 | 11,253 | 15,408 | 5,651 | 10,094 | 13,953 | 4,890 | 1,159 | 1,455 | 761 | — |
| 20 織 維 工 業 | 8,755 | 12,637 | 8,230 | 6,512 | 11,028 | 5,901 | 2,243 | 1,609 | 2,329 | — |
| 21 衣 服 そ の 他 織 維 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 11,864 | 15,097 | 7,222 | 11,864 | 15,097 | 7,222 | — | — | — | — |
| 30 窯 業 土 石 製 品 | 16,927 | 17,998 | 8,039 | 16,358 | 17,422 | 7,526 | 569 | 576 | 513 | — |
| 32 非 鉄 金 属 品 | 15,848 | 16,803 | 7,905 | 15,848 | 16,803 | 7,905 | — | — | — | — |
| 33 金 属 製 品 | 11,442 | 12,096 | 7,798 | 11,442 | 12,096 | 7,798 | — | — | — | — |
| 34 機 械 製 造 | 10,525 | 11,911 | 6,062 | 10,525 | 11,911 | 6,062 | — | — | — | — |
| 35 電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 15,330 | 16,926 | 7,901 | 15,240 | 16,819 | 7,893 | 90 | 107 | 8 | — |
| 19.38.39 そ の 他 | 12,534 | 15,687 | 9,612 | 11,756 | 14,406 | 9,301 | 778 | 1,281 | 311 | — |
| 管 理 事 務 及 び 技 術 労 働 者 | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 34,360 | 40,238 | 11,340 | 17,663 | 20,104 | 8,104 | 16,697 | 20,134 | 3,236 | 377 |
| E 建 設 業 | 16,993 | 17,663 | 10,271 | 16,858 | 17,520 | 10,210 | 135 | 143 | 61 | 336 |
| F 製 造 業 | 23,591 | 26,821 | 9,421 | 23,085 | 26,248 | 9,209 | 506 | 573 | 212 | 244 |
| 18 食 料 品 | 22,015 | 26,943 | 8,952 | 18,911 | 22,979 | 8,127 | 3,104 | 3,964 | 825 | 210 |
| 20 織 維 工 業 | 21,428 | 28,211 | 10,110 | 15,258 | 19,807 | 7,668 | 6,170 | 8,404 | 2,442 | 316 |
| 21 衣 服 そ の 他 織 維 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 製 品 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 20,867 | 24,644 | 8,834 | 20,867 | 24,644 | 8,834 | — | — | — | 320 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 | 20,149 | 22,749 | 9,523 | 20,149 | 22,749 | 9,523 | — | — | — | 330 |
| 32 非 鉄 金 属 品 | 23,540 | 26,421 | 9,289 | 23,540 | 26,421 | 9,289 | — | — | — | — |
| 33 金 属 製 品 | 20,620 | 27,620 | 9,841 | 20,620 | 27,620 | 9,841 | — | — | — | 286 |
| 34 機 械 製 造 | 17,067 | 20,996 | 6,360 | 17,067 | 20,996 | 6,360 | — | — | — | 204 |
| 35 電 気 機 械 器 具 製 造 業 | 24,235 | 27,093 | 9,765 | 24,216 | 27,078 | 9,726 | 19 | 15 | 39 | 222 |
| 19.38.39 そ の 他 | 20,118 | 23,959 | 10,435 | 19,893 | 23,732 | 10,214 | 225 | 227 | 221 | 318 |

第2表 産業常用労働者の種類及び性別1人平均月間実労働時間数及び出勤日数
(規模30人以上) (単位時間、日)

| 産 業 名 | 総実労働時間数 | | | 所定内労働時間数 | | | 所定外労働時間数 | | | 出 勤 日 数 | | |
|------------------------------|---------|-------|-------|----------|-------|-------|----------|------|------|---------|------|------|
| | 総 数 | 男子 | 女子 | 総 数 | 男子 | 女子 | 総 数 | 男子 | 女子 | 総 数 | 男子 | 女子 |
| 全 常 用 勞 働 者 | | | | | | | | | | | | |
| 總 数 | 203.4 | 205.5 | 194.2 | 181.0 | 180.3 | 183.9 | 22.4 | 25.2 | 10.3 | 24.2 | 24.2 | 24.4 |
| D 鉱 業 | 179.6 | 180.1 | 172.6 | 160.6 | 160.6 | 160.2 | 19.0 | 19.5 | 12.4 | 22.1 | 22.1 | 22.7 |
| E 建 設 業 | 290.3 | 190.5 | 189.0 | 176.2 | 175.9 | 178.8 | 14.1 | 14.7 | 10.2 | 23.4 | 23.4 | 24.1 |
| F 製 造 業 | 213.6 | 218.7 | 195.1 | 184.9 | 185.0 | 184.5 | 28.7 | 33.7 | 10.6 | 24.5 | 24.7 | 24.2 |
| 18 食 料 品 業 | 207.7 | 220.1 | 188.8 | 188.6 | 192.3 | 182.9 | 10.1 | 27.8 | 5.9 | 24.4 | 25.1 | 23.2 |
| 20 織 維 工 業 | 200.3 | 214.9 | 196.6 | 196.6 | 203.8 | 194.7 | 3.7 | 11.1 | 1.9 | 24.6 | 25.5 | 24.4 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 工 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 214.1 | 222.5 | 199.4 | 189.7 | 190.0 | 189.3 | 24.4 | 32.5 | 10.1 | 25.3 | 25.3 | 25.2 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 業 | 210.2 | 212.0 | 198.1 | 182.8 | 182.3 | 186.4 | 27.4 | 29.7 | 11.7 | 24.3 | 24.2 | 24.7 |
| 32 非 鉄 金 属 品 業 | 197.8 | 199.3 | 187.3 | 168.6 | 167.8 | 173.8 | 29.2 | 31.5 | 13.5 | 23.1 | 23.0 | 24.0 |
| 33 金 属 製 造 業 | 222.7 | 217.4 | 247.6 | 179.9 | 176.3 | 196.9 | 42.8 | 41.1 | 51.0 | 24.2 | 24.0 | 25.0 |
| 34 機 械 製 造 業 | 211.8 | 222.0 | 180.1 | 187.4 | 192.0 | 173.1 | 24.4 | 30.0 | 7.0 | 24.0 | 24.6 | 22.0 |
| 35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業 | 220.2 | 224.1 | 201.1 | 186.9 | 186.9 | 186.9 | 33.3 | 37.2 | 14.2 | 24.9 | 24.9 | 24.8 |
| 19.38.39 そ の 他 の 製 造 業 | 191.2 | 202.8 | 179.9 | 180.1 | 186.9 | 172.2 | 12.1 | 15.9 | 7.7 | 23.5 | 24.3 | 22.6 |
| G 卸 売 及 び 小 売 業 | 202.6 | 195.7 | 219.1 | 193.8 | 186.3 | 212.0 | 8.8 | 9.4 | 7.1 | 26.5 | 26.2 | 27.2 |
| H 金 融 保 險 業 | 186.2 | 182.5 | 192.9 | 178.0 | 175.1 | 183.2 | 8.2 | 7.4 | 9.7 | 25.5 | 25.3 | 25.8 |
| J 運 輸 通 信 業 | 195.5 | 197.8 | 181.9 | 185.5 | 187.8 | 172.0 | 10.0 | 10.0 | 9.9 | 24.2 | 24.3 | 23.6 |
| K 電 気 ガ ス 水 道 業 | 173.2 | 174.5 | 159.8 | 162.3 | 162.9 | 156.2 | 10.9 | 11.6 | 3.6 | 24.6 | 24.7 | 23.3 |
| L 医 療 保 健 業 | 201.5 | 203.4 | 200.3 | 191.9 | 191.1 | 192.4 | 9.6 | 12.3 | 7.9 | 24.7 | 24.7 | 24.8 |
| 生 産 勞 働 者 | | | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 177.2 | 177.8 | 168.5 | 158.1 | 158.4 | 154.1 | 19.1 | 19.4 | 14.4 | 21.6 | 21.6 | 21.1 |
| E 建 設 業 | 184.7 | 184.1 | 188.4 | 172.3 | 171.3 | 178.6 | 12.4 | 12.8 | 9.8 | 22.7 | 22.5 | 24.1 |
| F 製 造 業 | 213.3 | 219.3 | 193.7 | 183.9 | 184.0 | 183.6 | 29.4 | 35.3 | 10.1 | 24.4 | 24.5 | 24.0 |
| 18 食 料 品 業 | 205.1 | 219.4 | 185.7 | 185.7 | 189.6 | 180.5 | 19.4 | 29.8 | 5.2 | 24.0 | 24.8 | 22.9 |
| 20 織 維 工 業 | 197.8 | 210.7 | 196.1 | 194.8 | 198.9 | 194.2 | 3.0 | 11.8 | 1.9 | 24.4 | 24.9 | 24.3 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 工 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 214.3 | 223.6 | 200.9 | 188.2 | 186.1 | 191.1 | 26.1 | 37.5 | 9.8 | 25.0 | 24.7 | 25.5 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 業 | 212.2 | 213.6 | 199.9 | 181.5 | 181.0 | 185.6 | 30.7 | 32.6 | 14.3 | 24.0 | 24.0 | 24.5 |
| 32 非 鉄 金 属 品 業 | 200.2 | 202.2 | 184.5 | 167.0 | 166.6 | 170.4 | 33.2 | 35.6 | 14.1 | 23.0 | 22.9 | 23.4 |
| 33 金 属 製 造 業 | 221.8 | 216.6 | 250.5 | 178.3 | 174.8 | 197.9 | 43.5 | 41.8 | 52.6 | 24.1 | 23.9 | 25.3 |
| 34 機 械 製 造 業 | 211.0 | 221.9 | 175.7 | 185.5 | 190.7 | 168.5 | 25.5 | 31.2 | 7.2 | 23.9 | 24.5 | 21.7 |
| 35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業 | 220.1 | 224.2 | 201.3 | 186.6 | 186.5 | 187.5 | 33.5 | 37.7 | 13.8 | 24.8 | 24.8 | 24.8 |
| 19.38.39 そ の 他 の 製 造 業 | 193.0 | 210.0 | 177.3 | 178.6 | 188.9 | 169.0 | 14.4 | 21.1 | 8.3 | 23.2 | 24.3 | 22.2 |
| 管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者 | | | | | | | | | | | | |
| D 鉱 業 | 192.4 | 196.4 | 178.9 | 174.4 | 175.7 | 169.3 | 18.5 | 20.7 | 9.6 | 25.0 | 25.0 | 25.0 |
| E 建 設 業 | 202.2 | 203.3 | 191.0 | 184.4 | 184.9 | 179.6 | 17.8 | 18.4 | 11.4 | 25.0 | 25.1 | 23.7 |
| F 製 造 業 | 214.3 | 217.6 | 199.5 | 187.4 | 187.4 | 187.2 | 26.9 | 30.2 | 12.3 | 25.0 | 25.0 | 24.8 |
| 18 食 料 品 業 | 218.4 | 222.1 | 208.8 | 200.2 | 200.9 | 198.8 | 18.2 | 21.2 | 10.4 | 26.0 | 26.1 | 25.8 |
| 20 織 維 工 業 | 212.8 | 219.0 | 202.5 | 205.6 | 208.5 | 200.7 | 7.2 | 10.5 | 1.8 | 25.7 | 26.1 | 25.1 |
| 21 衣 服 其 他 織 維 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 22 木 材 木 工 製 品 業 | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 26 化 学 工 業 | 213.8 | 220.4 | 192.8 | 193.5 | 197.2 | 181.5 | 20.3 | 23.2 | 11.3 | 25.9 | 26.5 | 24.1 |
| 30 窯 業 土 石 製 品 業 | 203.4 | 205.6 | 194.5 | 188.0 | 187.9 | 188.1 | 15.4 | 17.7 | 6.4 | 25.2 | 25.2 | 25.2 |
| 32 非 鉄 金 属 品 業 | 192.4 | 192.8 | 191.1 | 171.6 | 170.3 | 178.3 | 20.8 | 22.5 | 12.8 | 23.5 | 23.3 | 24.8 |
| 33 金 属 製 造 業 | 230.6 | 225.7 | 238.0 | 193.5 | 194.3 | 192.2 | 37.1 | 31.4 | 45.8 | 24.9 | 24.9 | 24.9 |
| 34 機 械 製 造 業 | 215.0 | 222.4 | 194.5 | 194.8 | 197.1 | 188.3 | 20.2 | 25.3 | 6.2 | 24.5 | 24.7 | 23.8 |
| 35 電 氣 機 械 器 具 製 造 業 | 220.4 | 224.2 | 200.7 | 187.5 | 187.8 | 185.7 | 32.9 | 36.4 | 15.0 | 25.0 | 25.1 | 24.8 |
| 19.38.39 そ の 他 の 製 造 業 | 189.6 | 187.3 | 195.5 | 185.1 | 182.6 | 191.5 | 4.5 | 4.7 | 4.0 | 24.5 | 24.3 | 24.9 |

第3表 産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）（単位人）

| 前月末労働者数 | | | 本月中の増加 | | | 本月中の減少 | | | 本月末労働者数 | | | 臨時及び日雇労働者の 年間推計延人員 |
|---------|--------|--------|--------|-------|-----|--------|-------|-----|---------|--------|--------|-----------------------|
| 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | 総数 | 男子 | 女子 | |
| 81,475 | 65,918 | 15,557 | 1,957 | 1,455 | 502 | 1,409 | 1,025 | 384 | 82,023 | 66,348 | 15,675 | 49,778 |
| 11,761 | 10,856 | 905 | 151 | 142 | 9 | 186 | 163 | 23 | 11,728 | 10,835 | 891 | 9,178 |
| 3,711 | 3,227 | 484 | 391 | 335 | 56 | 162 | 103 | 59 | 3,940 | 3,459 | 481 | 20,343 |
| 47,750 | 37,346 | 10,404 | 1,197 | 859 | 338 | 790 | 564 | 226 | 48,157 | 37,641 | 10,516 | 11,056 |
| 2,401 | 1,455 | 946 | 31 | 16 | 15 | 39 | 31 | 8 | 2,393 | 1,440 | 953 | 786 |
| 1,641 | 329 | 1,312 | 14 | 3 | 11 | 43 | 7 | 36 | 1,612 | 325 | 1,287 | 1,696 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 1,078 | 692 | 386 | 19 | 6 | 13 | 15 | 8 | 7 | 1,082 | 690 | 392 | 311 |
| 1,829 | 1,607 | 222 | 23 | 14 | 9 | 50 | 47 | 3 | 1,802 | 1,574 | 228 | 746 |
| 4,675 | 4,072 | 603 | 133 | 113 | 20 | 47 | 30 | 17 | 4,761 | 4,155 | 606 | — |
| 1,226 | 1,036 | 190 | 151 | 102 | 49 | 22 | 11 | 11 | 1,355 | 1,127 | 228 | 213 |
| 3,720 | 2,806 | 914 | 113 | 77 | 36 | 251 | 190 | 61 | 3,582 | 2,693 | 889 | 24 |
| 23,316 | 19,309 | 4,007 | 469 | 356 | 113 | 238 | 170 | 68 | 23,547 | 19,495 | 4,052 | 656 |
| 2,145 | 1,163 | 982 | 47 | 19 | 28 | 26 | 16 | 10 | 2,166 | 1,666 | 1,000 | 415 |
| 4,689 | 3,329 | 1,360 | 56 | 34 | 22 | 70 | 51 | 19 | 4,675 | 3,312 | 1,363 | 2,598 |
| 2,376 | 1,524 | 852 | 44 | 13 | 31 | 44 | 17 | 27 | 2,376 | 1,520 | 856 | — |
| 9,715 | 8,290 | 1,425 | 113 | 67 | 46 | 152 | 124 | 28 | 9,676 | 8,233 | 1,443 | 6,338 |
| 1,473 | 1,346 | 127 | 5 | 5 | — | 5 | 3 | 2 | 1,473 | 1,348 | 125 | 90 |
| 3,479 | 1,410 | 2,069 | 25 | 18 | 7 | 31 | 11 | 20 | 3,473 | 1,417 | 2,056 | 1,076 |
| 10,017 | 9,469 | 548 | 123 | 116 | 7 | 166 | 145 | 21 | 9,974 | 9,440 | 534 | — |
| 2,466 | 2,088 | 378 | 369 | 319 | 50 | 127 | 80 | 47 | 2,708 | 2,327 | 381 | — |
| 33,870 | 26,078 | 7,792 | 1,055 | 743 | 312 | 694 | 523 | 171 | 34,231 | 26,298 | 7,933 | — |
| 1,947 | 1,125 | 822 | 25 | 10 | 15 | 37 | 29 | 8 | 1,935 | 1,106 | 829 | — |
| 1,376 | 163 | 1,213 | 13 | 3 | 10 | 42 | 6 | 36 | 1,347 | 160 | 1,187 | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 764 | 459 | 305 | 18 | 5 | 13 | 15 | 8 | 7 | 767 | 456 | 311 | — |
| 1,444 | 1,298 | 146 | 20 | 11 | 9 | 45 | 42 | 3 | 1,419 | 1,267 | 152 | — |
| 3,110 | 2,775 | 335 | 103 | 85 | 18 | 35 | 28 | 7 | 3,178 | 2,832 | 346 | — |
| 1,090 | 954 | 136 | 146 | 97 | 49 | 22 | 11 | 11 | 1,214 | 1,040 | 174 | — |
| 2,945 | 2,251 | 694 | 92 | 59 | 33 | 234 | 190 | 44 | 2,803 | 2,120 | 683 | — |
| 15,229 | 12,570 | 2,659 | 412 | 311 | 101 | 199 | 152 | 47 | 15,442 | 12,729 | 2,713 | — |
| 1,637 | 800 | 837 | 44 | 19 | 25 | 24 | 16 | 8 | 1,657 | 803 | 854 | — |
| 1,774 | 1,387 | 357 | 28 | 26 | 2 | 20 | 18 | 2 | 1,752 | 1,359 | 357 | 9,178 |
| 1,245 | 1,139 | 106 | 22 | 16 | 6 | 35 | 23 | 12 | 1,232 | 1,132 | 100 | 20,343 |
| 13,880 | 11,268 | 2,612 | 142 | 116 | 26 | 96 | 41 | 55 | 13,926 | 11,343 | 2,583 | 11,056 |
| 454 | 330 | 124 | 6 | 6 | — | 2 | 2 | — | 458 | 334 | 124 | 786 |
| 265 | 166 | 99 | 1 | — | 1 | 1 | 1 | — | 265 | 165 | 100 | 1,696 |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — |
| 314 | 233 | 81 | 1 | 1 | — | — | — | — | 315 | 234 | 81 | 311 |
| 385 | 309 | 76 | 3 | 3 | — | 5 | 5 | — | 383 | 307 | 76 | 746 |
| 1,565 | 1,297 | 268 | 30 | 28 | 2 | 12 | 2 | 10 | 1,583 | 1,323 | 260 | — |
| 136 | 82 | 54 | 5 | 5 | — | — | — | — | 141 | 87 | 54 | 213 |
| 775 | 555 | 220 | 21 | 18 | 3 | 17 | — | 17 | 779 | 573 | 206 | 24 |
| 8,087 | 6,739 | 1,348 | 57 | 45 | 12 | 39 | 18 | 21 | 8,105 | 6,766 | 1,339 | 656 |
| 508 | 363 | 145 | 3 | — | 3 | 2 | — | 2 | 509 | 363 | 146 | 415 |

新市町村の横顔

稲敷郡 茎崎村



小池村長

地区住民の福祉の向上にあるとすれば、茎崎村のように合併はしなくても、村民の生活の豊かな保障があるとすれば、それはそれで又良いではないかという気がする。かつて県内でも大きな村であったが、おかげで今では七会村、玉里村に次いで小さな（人口が少い）村となつてしまった。しかし人口が少いといつて、貧弱な村といえないのはもちろんである。

たとえば農家世帯 888戸のうち耕地面積 1ヘクタール以上の農家は 561戸もある。——昭和34年夏期農業基本調査——村の人の話によると田畑あわせて平均3ヘクタールは耕作しているというが、いずれにしても村のだれもが、おらが村は裕福だと自負している。

常磐線牛久駅で下車すると、下妻行三ツ矢観光バスが待つていた。このバスは普通のバスと違って小型四輪乗用車と同じ車高の車で、定員12人くらい、乗客が一杯になると後の開戸をあけて乗り降りさせる。オトギのバスだというが、田舎の道をこわさずに走るにはこんなバスもまた合理的だ。バスで15分茎崎村役場に着く。合併町村の新しい庁舎を見なれた目には、一寸やぼつたいが、そこはそれ、自分たちだけの村という気安さから別に見栄を張る必要もないという。

村の東西5.8km、南北8.7km、面積27.3km²、ふところに牛久沼をいだし、田と畑に恵まれた純農村である。茎崎村という村名は、昔牛久沼をはさんで二つの部落に分れていたが、その部落小茎と岩崎の一字ずつを取って初代村長の小池氏がつけた。

1. 沿革

昭和28年10月町村合併促進法が施行されて以来、市町村の合併が次々と実現し、歴史上行政区画の一つの革命が行われたわけであるが、何事にも例外のあること、あの大きな合併騒ぎをよそに、一人その孤高を守つた村が本県にも三つある。この茎崎村はその一つだ。

前記法律の終局の目的が、地

2. 産 業

合併しない村、茎崎村の村造りについて、今年5月新村長に当選した小池村長にその抱負を聞いて見よう。

「この村は牛久沼をはさんで北東部と南西部とではその地形が違っている。すなわち北東部は台地で畑が多く、南西部には水田が多い。従つて農業経営もそれぞれの地域に即応したやり方が必要である。生産面においては特殊作物に力を入れ、らつかせい、ぶどう、なしに手を伸べたいと思つている。現在のところ生産面はまず申し分ないので、この村で欠けている出荷、販売面の機構を整備したい。そのために農協の再建を図つている。村長は農協の組合長を兼ねている。一時村の南端牛久沼に突き出した所、泊崎が茨城百景に指定され、厳島神社、弁天様、護摩塚など名勝旧蹟のあるところから、ここを中心とした観光地を作ろうとの考えがあつたが、交通不便のところから、やはり農村は農村らしくという地味な考えに逆戻りした。結局それは賢明だつたと思う。」

主な農産物は米、なたね、さつまいも、大麦、らつかせい、西瓜などで、小麦が特に多い。

話は替るが、本村にある牛久沼は竜ヶ崎市の所有である。昔水利権の問題からそうなつたという。村で漁業を副業にしている家は130戸で、うなぎ26t、わかさぎ7tふな112t、食用蛙2t、しじみ21t等の漁獲量がある。（昭和33年産）

3. 教育文化

村の教育程度は比較的低いと村の人はいう。その原因は1戸当りの耕地面積が多いので、人の手が必要なためだ。それでも最近、竜ヶ崎、取手、谷田部、土浦への高校進学者は増えた。

現在までのところ、一応整備されたのは道路の改良と消防施設である。前者は竜ヶ崎土木管内で表彰を受けた。後者については約20t入りの貯水槽を60カ所設け、可搬式動力ポンプ10台を備えつけた。

国民健康保険は昨年11月実施したが本村は無医村である。しかし、牛久、荒川沖、谷田部に近いのでさして不自由はないという。

納税成績は毎年95%を突破し、ここ5、6年毎年表彰を受けている。ここにもこの村の裕福さを反映しているといえるか。

昭和34年度一般会計歳入歳出予算

(単位円)

| 歳入 | 村税 | 地方交付 税交付金 | 公営企業 及び財産 取 | 使用料及 び手数料 | 国庫 支出金 | 県支出金 | 寄付金 | 繰越金 | 雑収入 | 村債 | 合 計 | | | | |
|----|-----------|--------------|-------------------|--------------|-----------|---------------|-------------|-------------|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|------------|
| 入 | 9,628,100 | 8,500,000 | 720 | 108,700 | 138,746 | 652,836 | 100 | 10,000 | 25,410 | 30,000 | 19,094,612 | | | | |
| 歳出 | 議会費 | 役場費 | 消防費 | 土木費 | 教育費 | 社会労 働 費 | 保 健 費 | 産 業 費 | 財産費 | 統 計 費 | 選 挙 費 | 公 債 費 | 諸 出 金 | 支 予 備 費 | 合 計 |
| 出 | 596,314 | 5,854,648 | 1,623,899 | 1,442,462 | 4,734,959 | 275,430 | 431,693 | 2,034,677 | 20,720 | 137,300 | 373,844 | 203,166 | 1,165,500 | 200,000 | 19,094,612 |



統計職員養成所に入所して

生 井 一 郎

統計関係者の皆様方には1960年世界農林業センサス、昭和35年国勢調査の二大センサスを来年に控え準備の中で御多忙のことと思っております。
このたび統計職員養成所第25期生として入所いたしましたので御参考までにその概略を述べてみたいと思っております。

すでに御存知の方もありますが、統計職員養成所の歴史は古く、大正11年10月統計職員養成所規程が公布され国務院第一部に統計職員を養成する組織的機関として置かれたのがそのはじまりであり、以来毎年2回3カ月の研修を実施してきましたが、戦後統計機構が拡充され、統計法に基づく統計職員養成機関の一つに指定されたことにより、昭和22年10月より全く新しい組織のもとに現行の年2回（4月から9月まで、10月から3月まで）6カ月研修となり、すでに千数百人の修業生を出しているとのことでもあります。

養成所は東京駅からバスで約20分三軒家まで下り徒歩で5分程の港区麻布富士見町にあり、建物は木造二階建のあまり良いものではありませんが、近くには有栖川宮記念公園、フランス大使館、自治大学校等があり、目を遠くに向けて東京タワーがそびえており、教室にいても時折からすの鳴き声等も聞ける東京にしてはめずらしく静かな高台にあります。

研修生は北は北海道、南は沖縄まで全国から59人が集まりました。これを勤務先別にみますと、総理府、農林省、通産省等の中央各省庁29人、都道府県17人、市町村7人、電々公社、国鉄等公営企業関係4人、琉球政府2人となっております。このうち女性が2人おります。これが各人の希望によってA、B両クラスに分かれ、Aクラス42人は主として統計実務を、Bクラス17人は主として数理統計を履修するようになっております。

時間割は1週間を単位に編成し、予定の前の週に知らせてくれるようになっており、授業時間は午前9時30分

から午前2単限（1単限は1時間30分）午後2単限あるいは3単限行われ、修業までに約400単限行うことになっております。どんな科目を履修するかについては参考までに別表にまとめておきました。

養成所の方針によりまずと入所してから二カ月ぐらいのうちに数理系統の科目を履修させるということで、今のところ基礎数学理論と演習がほとんどであり、理論は立教大学講師が、演習は統計局の方が講義してくれております。はじめのうちは高校時代の復習のようなものでありましたが、だんだんとむずかしくなってきました。まだわずか2週間たらずであります。統計集団の性質（算術平均、幾何平均、調和平均、分數、標準偏差）を算出する場合等に用いる Σ （シグマ）の計算、またある年とある年は資料があるが、その中間を知りたい場合等に用いる最小二乗法とか、人口推計等に用いる補間法等いろいろと将来役に立つようなものも、まだほんの入口程度であります。現在確率論のところをやつており、宝くじを買った時の期待金額（賞金と当せん率から計算する）はいくらになるであろうか、等と一寸興味ある問題を例にやっております。しかし時には面白い問題や話が出て一日中数学の時は頭の方も熱くなるような気がいたします。試験もたびたび行われ、授業中にも問題であられますので、皆んな静かに授業を受けております。

昼休みにはキャッチボール等をしてなるべく運動をするように努めておりますが、休み時間は40分ですし、それに自治大学校の食堂を利用しておりますのであまりできません。養成所でも時にはレクリエーションとしてソフトボールやテニスの試合が行われるそうですがまだやったことはありません。とにかく今から約5カ月間統計の勉強が出来るのですからしつかりやらなければと思っております。最後に皆様の御健闘をお祈りいたします。

教授科目予定単限表

| 教授科目 | 統計総論 | 統計各論 | 数理統計 | 統計実務 | 基礎科目 | その他 | 合計 |
|------|--------------|------------------------------|--|---|--|-------------------------------------|-----|
| | 統計概論 統計演習 | 人経農通 口済業産 統統統統 計計計計 | 品折オズ産 質ベリレー 管所得理 管所得理 統統統統 統場 計計計計 計分 | 記及推抽 述び測出 統時測出 計間統理 係統理 列論論 論論論 | 統製統統計統統統 計表計計算用資 計分料資計 調実図機機 査務表械械法集論史 | 基行論微 礎列分 及及び積 数行列分 学式学学 | |
| A組 | 一〇 | | 四〇 | 三五 | 二四 | 一五〇〇 | 一五三 |
| 合同 | 二〇 | 二二 | | 二〇 | 一一〇〇 | 二〇八 | 二〇〇 |
| B組 | | | 四〇 | 四五 | 四五 | 一五〇〇 | 一六五 |
| 選択 | 〇 | 四 | 〇 | 一 | 九〇 | 四八 | 二三 |

(注) 〇1単限は90分である。
 〇一つの科目にA、Bともに書いてあるものは講師が異なるため。
 〇選択科目はA、B各組共50~60単限に相当する科目を選択する。